

# デジタルパノラマX線写真による 口腔健康診査システムに関する調査報告

(町村及び受診者に対するアンケート編)

社団法人 福島県歯科医師会  
財団法人 福島県保健衛生協会

## あ い さ つ

わが国は、医療制度の充実と国民生活の向上により、世界一の長寿国家を成し遂げたが、高齢化に伴う新たな問題が提起されている。そのことは、ただ生き長らえるだけでなく、生き甲斐のある人生を全うしたいという国民の健康寿命願望によく現れている。

国は健康日本21推進国民会議を設立し、すべての国民が健やかで心豊かに生活できる社会を目指し、個人が主体的に取り組む健康づくりを支援する事を目標にしている。これを受けて、福島県においても健康ふくしま21を策定し、諸施策に取り組んでいるところである。

厚生科学研究において、口腔機能と全身の健康との関係が明らかになったことから、福島県歯科医師会は福島県保健衛生協会（会長・嶋多門県医師会長）と奥羽大学歯学部との連携により、県内市町村住民を対象に健診車による口腔診査を実施した。

本事業は、従来の視診を主とした主観的健診から、デジタルパノラマX線撮影と奥羽大学歯学部による読像・解析によって、より客観性のある診断が可能となった。パノラマレントゲン搭載車による口腔健診事業は、おそらく全国初の試みと思われるが、正確な健診データの集積は、年齢、性別、地域差等の分析によって、今後の歯科保健をよりきめ細かく実施する上で大いに活用できるものと考えられる。また、これらのデータは大規模災害等の発生時には、迅速に対応できる可能性もある。

このたび、福島県から調査の委託を受けて、平成12年7月、健診車新規導入後12月までに受診した県内10町村住民と同集団健診事業担当者にアンケート調査を行い、いくつかの興味ある結果を得たので報告する。

本事業を継続することにより、逐次分析を試み、問題点を整理して県民に対する歯科保健の充実に一層寄与したいと考えている。

本事業の設立、運用に関し、終始ご助力をいただいた福島県保健衛生協会、奥羽大学歯学部に感謝いたします。

平成13年3月

社団法人福島県歯科医師会

会 長 譽 田 雄 一 郎

## 目 次

・ 調査の概要 .....	1
・ 口腔健康診査フローチャート .....	3
・ 住民アンケート調査結果 .....	4
・ 市町村アンケート調査結果 .....	20
・ まとめ .....	27

## ．調査の概要

### 1 目 的

平成12年度から成人に対する歯周疾患やむし歯などの早期発見、予防を目的として、デジタルパノラマX線撮影と歯科衛生士による口腔内観察、保健指導等を行う「口腔健康診査」を集団健診方式で実施した。

口腔の健康を維持することが全身の健康づくりの入口といえ、高齢者の生活状況と口腔機能との関係を見ると、喪失歯のない者や健全歯を多く保有している者は歯の数の少ない者に比べて健康状態がより良好で、日常生活上の活動範囲も広い者が多いことが数多く報告されている。

本調査は、今年度口腔健康診査を行った実施主体（市町村）及び受診者（住民）に対して、成人の口腔の健康に対する意識の実態及び受診行動について調査し、口腔健康診査体制整備と今後の充実についての考察を行う目的で実施した。

### 2 調査対象

#### (1) 住民

平成12年7月～12月の間に口腔健康診査を受診した県内10町村（大玉村、東村、矢祭町、都路村、岩瀬村、古殿町、会津本郷町、新鶴村、西会津町、大熊町）648人全員

#### (2) 市町村の集団健診事業担当者

平成12年7月～12月の間に口腔健康診査を実施した県内10町村（大玉村、東村、矢祭町、都路村、岩瀬村、古殿町、会津本郷町、新鶴村、西会津町、大熊町）の集団健診事業担当者

### 3 調査方法

住民に対するアンケートは、往復、郵送法により実施した。

市町村担当者に対するアンケートは郵送し、健診機関である県保健衛生協会職員が各町村を個別に訪問してご意見を伺いながら回収した。

### 4 調査時期

平成12年11月～平成13年1月

### 5 回収状況

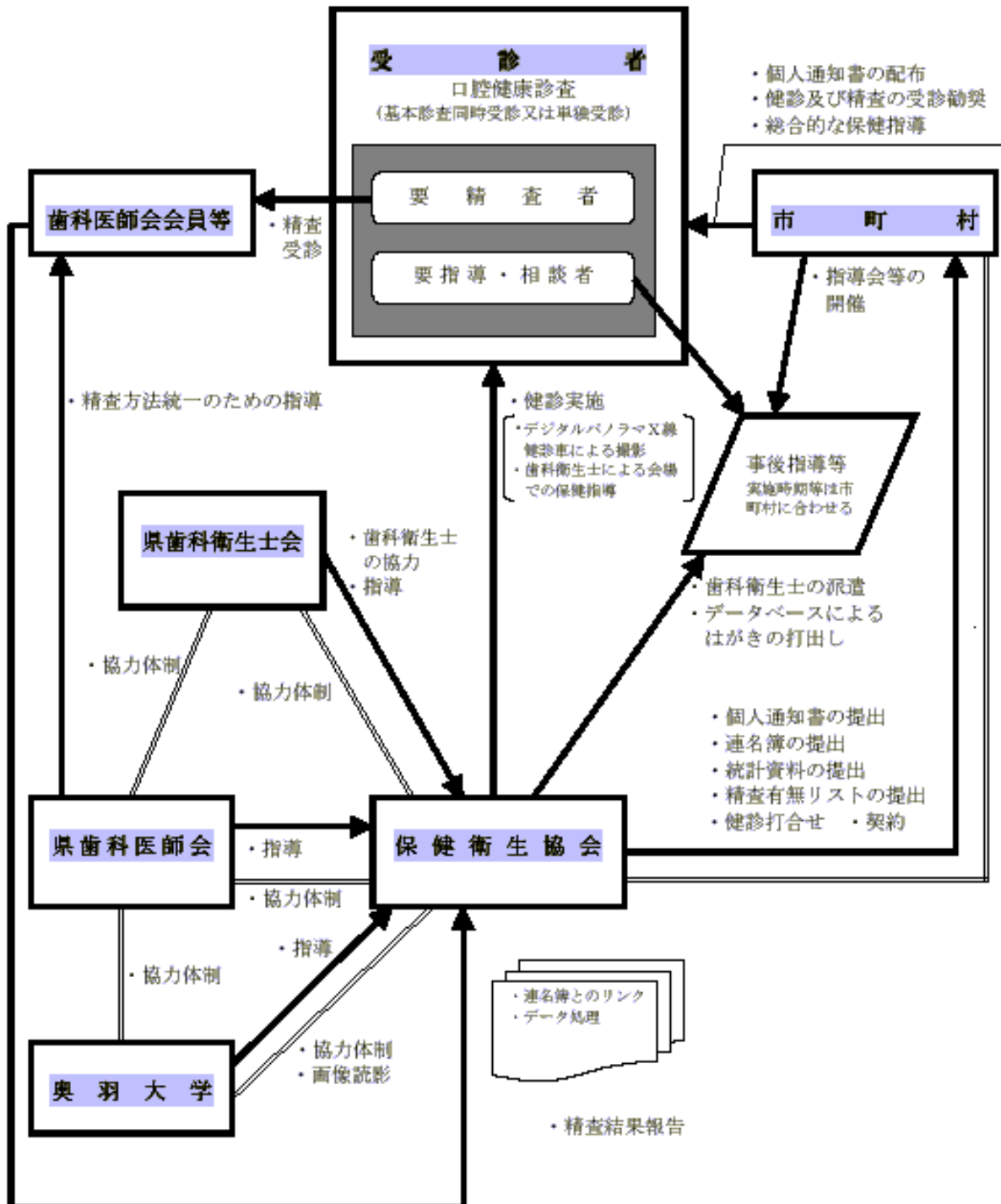
対 象		発送数	回収数	回収率
住 民	男	176	75	42.6%
	女	472	225	47.7%
	計	648	303	46.8%
市 町 村		10	10	100%

( 住民内訳 )

市町村名	発送数	回収数	回収率
大玉村	109	53	48.6%
東村	109	48	44.0%
矢祭町	39	22	56.4%
都路村	16	9	56.3%
岩瀬村	11	5	45.5%
古殿町	60	30	50.0%
会津本郷町	37	21	56.8%
新鶴村	19	15	78.9%
西会津町	42	21	50.0%
大熊町	206	79	38.3%
合計	648	303	46.8%

# 口腔健康診査フローチャート

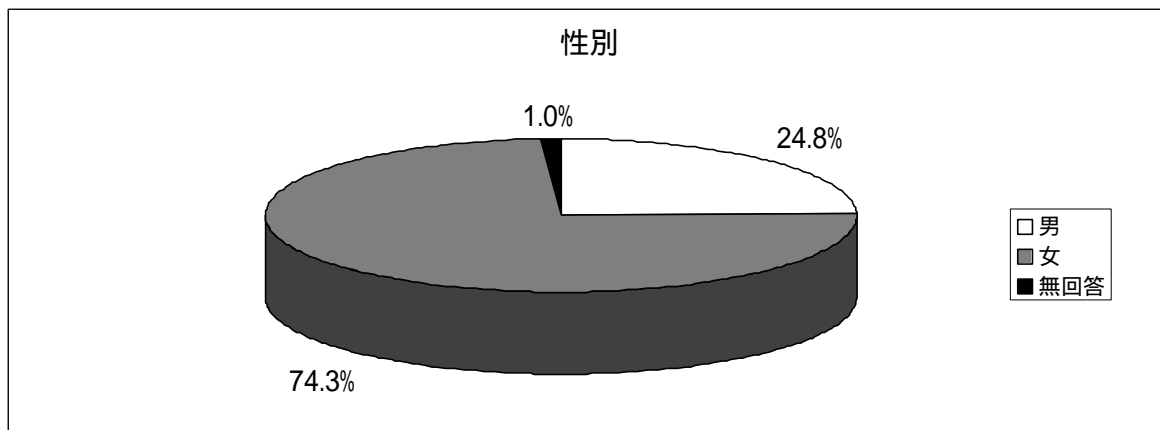
(デジタルパノラマX線撮影方式による)



## 住民アンケート調査結果

### 質問 1 回答者性別

	回答項目	件数	割合
1	男	75	24.8%
2	女	225	74.3%
3	無回答	3	1.0%
	計	303	100%

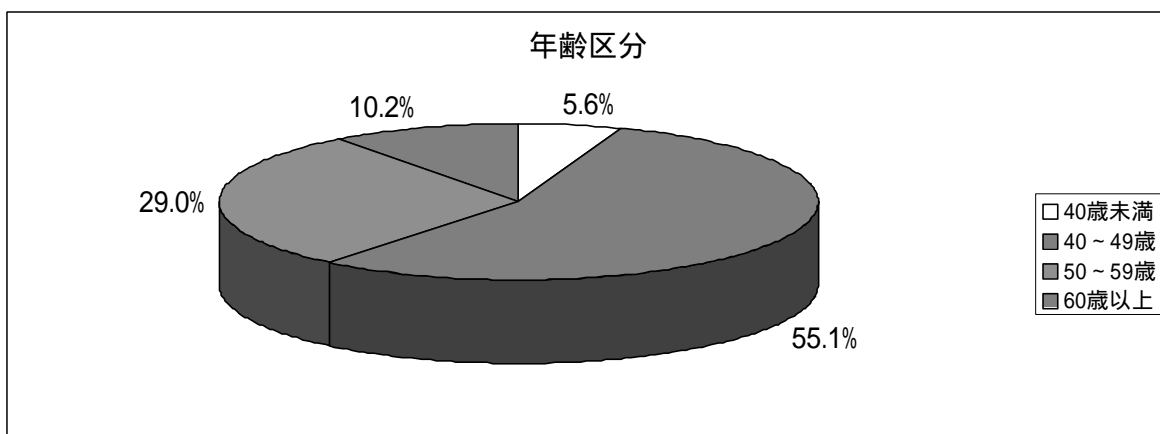


### 質問 2 回答者年齢

	回答項目	件数	割合
1	30歳以下	3	1.0%
2	31～35歳	3	1.0%
3	36～39歳	11	3.6%
4	40～44歳	84	27.7%
5	45～49歳	83	27.4%
6	50～54歳	51	16.8%
7	55～59歳	37	12.2%
8	60～64歳	16	5.3%
9	65歳以上	15	5.0%
10	無回答	0	0%
	計	303	100%

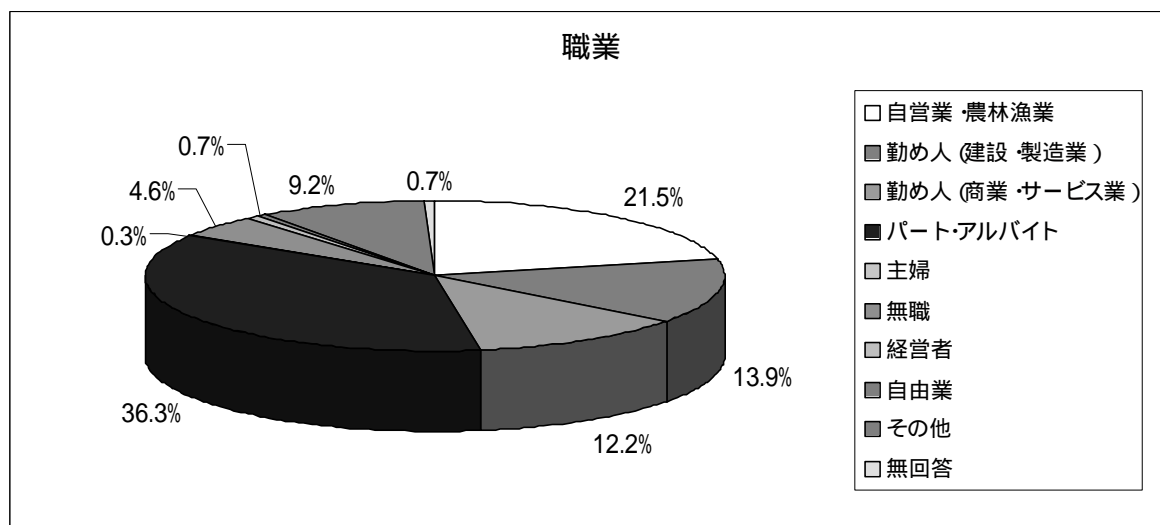
### 回答者年齢区分

	区分	件数	割合
1	40歳未満	17	5.6%
2	40～49歳	167	55.1%
3	50～59歳	88	29.0%
4	60歳以上	31	10.2%
5	無回答	0	0%
	計	303	100%



### 質問3 回答者職業

	回答項目	件数	割合
1	自営業・農林漁業	65	21.5%
2	勤め人(建設・製造業)	42	13.9%
3	勤め人(商業・サービス業)	37	12.2%
4	パート・アルバイト	110	36.3%
5	主婦	1	0.3%
6	無職	14	4.6%
7	経営者	2	0.7%
8	自由業	2	0.7%
9	その他	28	9.2%
10	無回答	2	0.7%
	計	303	100%



受診者に国保対象者が多い為、自営業・農林漁業、パート・アルバイトが約6割である。

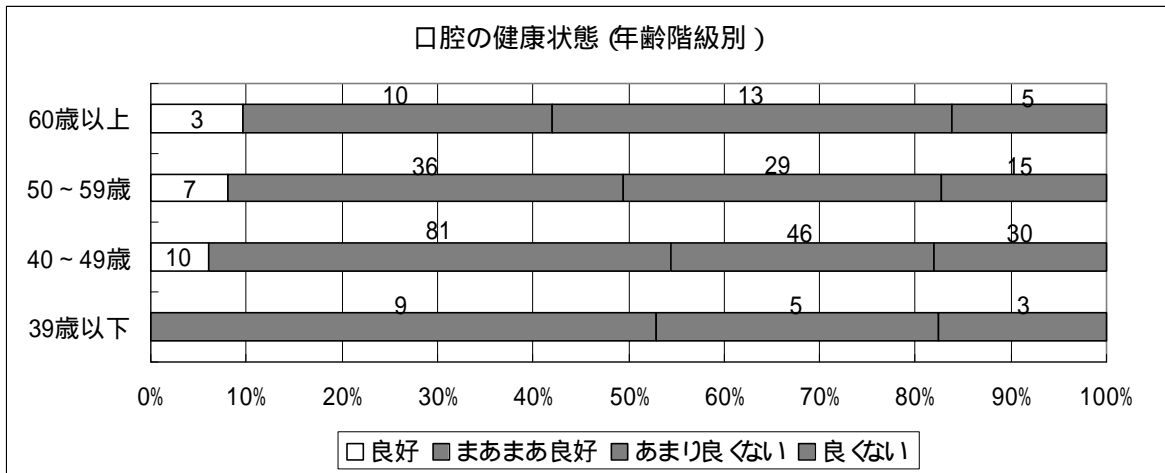
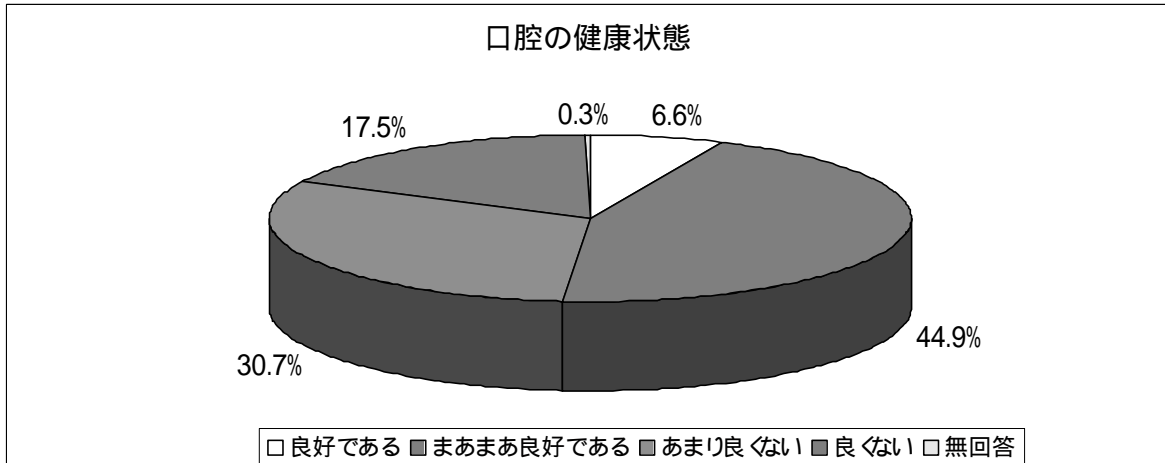
### 質問4 回答者の市町村名

	回答項目	件数
1	大玉村	53
2	東村	48
3	矢祭町	22
4	都路村	9
5	岩瀬村	5
6	古殿町	30
7	会津本郷町	21
8	新鶴村	15
9	西会津町	21
10	大熊町	79
11	無回答	0
	計	303

### 質問5 自分の口腔(口の中)の健康状態に対する認識

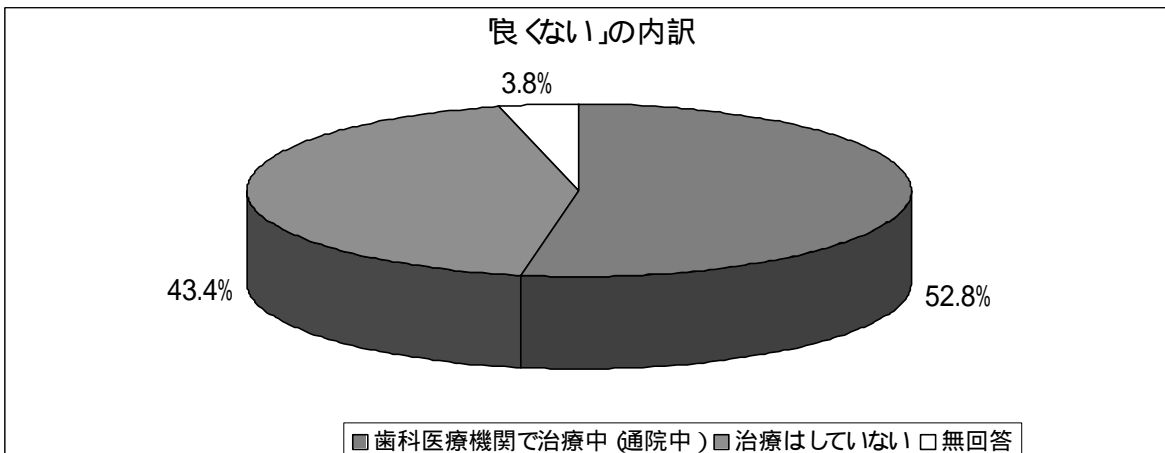
「自分の口腔の健康状態について、どの様にお考えですか。」

	回答項目	件数	割合
1	良好である	20	6.6%
2	まあまあ良好である	136	44.9%
3	あまり良くない	93	30.7%
4	良くない	53	17.5%
5	無回答	1	0.3%
	計	303	100%



**質問5-2 質問5で「良くない」の内訳**

回答項目	件数	割合
1 歯科医療機関で治療中 (通院中)	28	52.8%
2 治療はしていない	23	43.4%
3 無回答	2	3.8%
計	53	100%



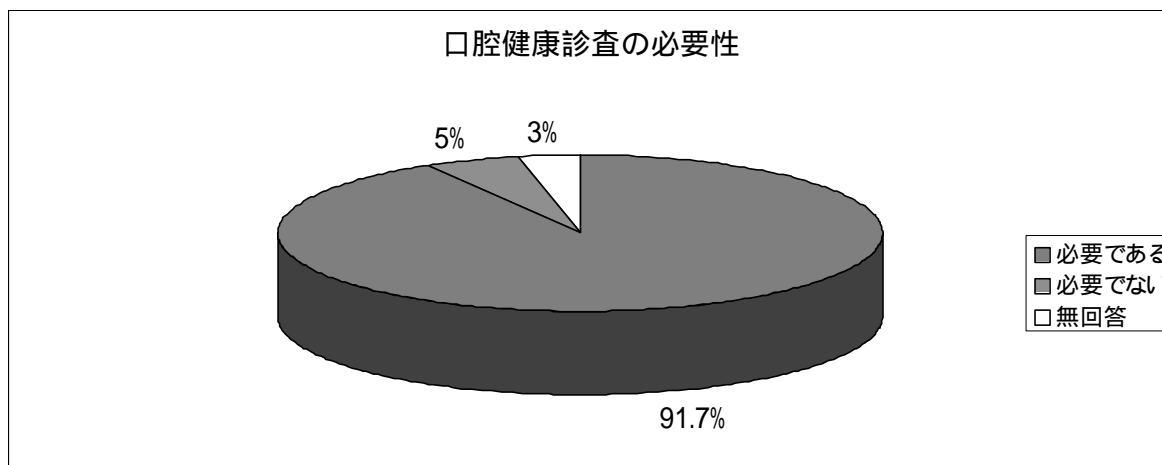
自己の口腔の健康認識についての質問であるが、年齢階層が高くなるほど「良好」「まあまあ良好」と回答する合計割合が低くなり、逆に「良くない」「あまり良くない」と回答する合計割合が高くなっている。

全体では、「良好」6.6% または「まあまあ良好」(44.9%)と回答した人が約半数となっており、また、「良くない」と回答した53人のうち23人(43.4%)は「治療はしていない」と回答している。

**質問6 口腔健康診査の必要性について**

「あなたは、市町村が実施している口腔健康診査事業の必要性についてどのように考えていますか。次のうち1つだけ選んでください。」

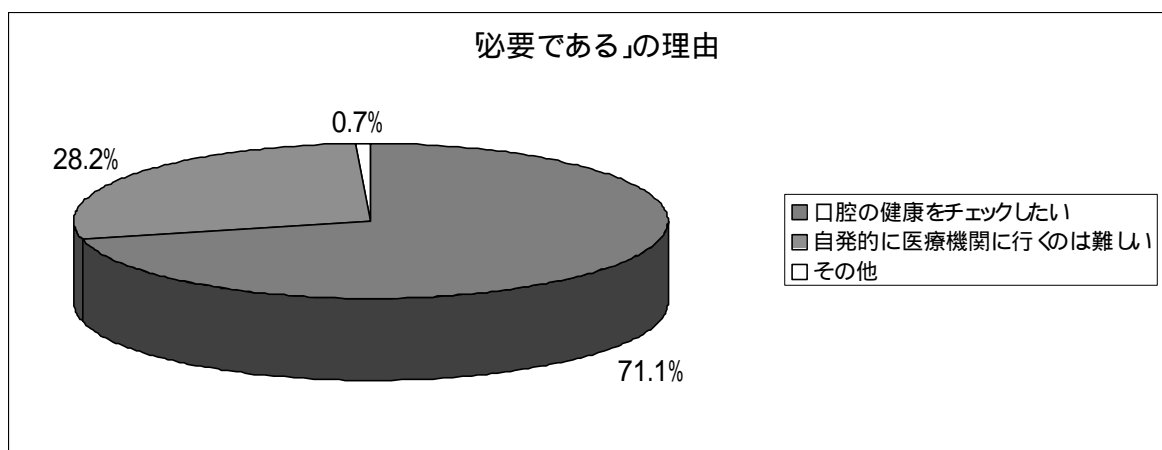
	回答項目	件数	割合
1	必要である	278	91.7%
2	必要でない	15	5.0%
3	無回答	10	3.3%
	計	303	100%



**質問6-2 質問6で「必要である」の理由**

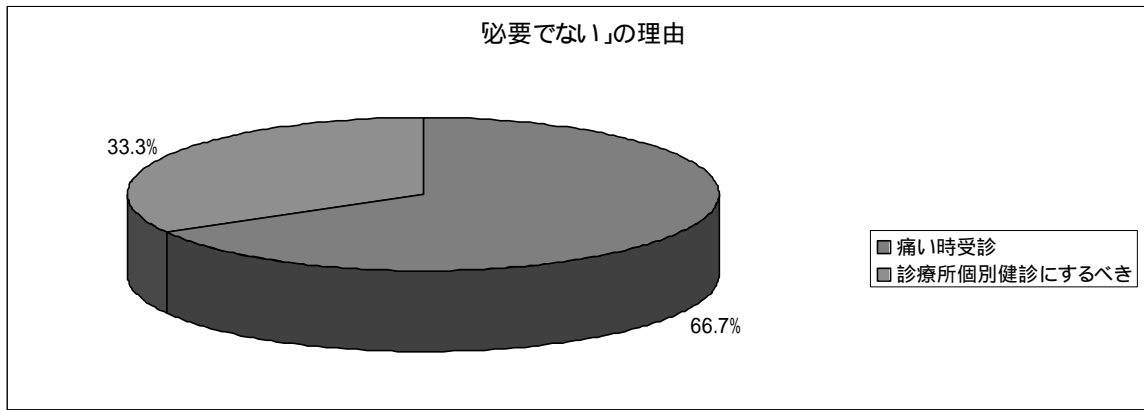
	回答項目	件数	割合
1	口腔の健康をチェックしたい	199	71.1%
2	自発的に医療機関に行くのは難しい	79	28.2%
3	その他	2	0.7%
4	無回答	0	0%
	計	280	100%

その他の意見 受診者を通して家族など身近な人の歯に対する意識も高まり地域的に向上していけるように思うので必要。



**質問6-3 質問6で「必要でない」の理由**

	回答項目	件数	割合
1	痛くなったら歯科診療所に行けばよい	10	66.7%
2	歯科診療所での個別健診にするべき	5	33.3%
3	その他	0	0%
4	無回答	0	0%
	計	15	100%



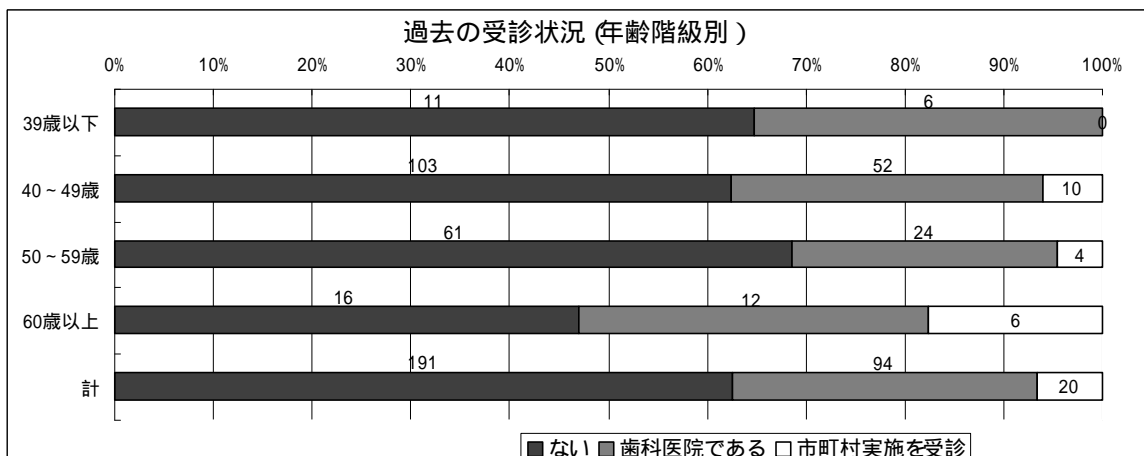
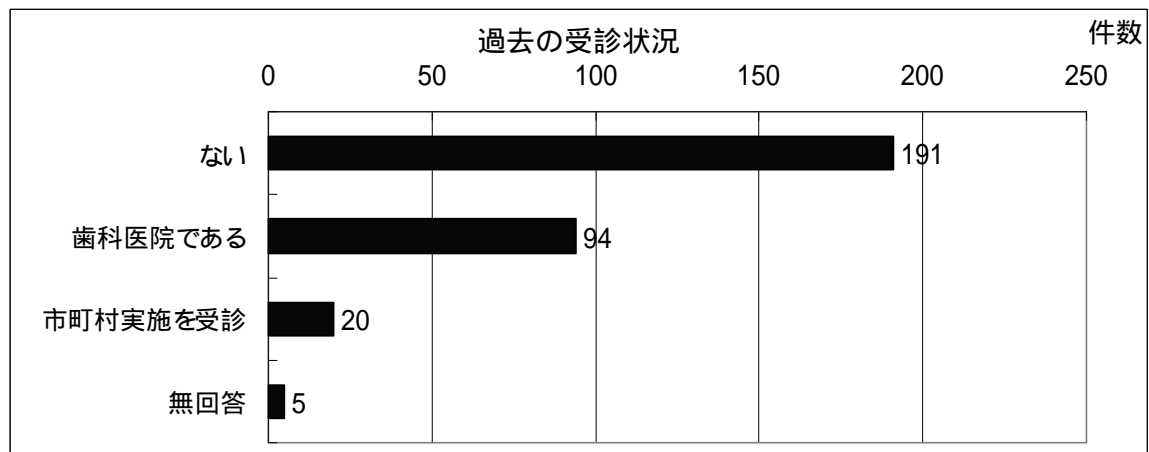
今回受診した口腔健康診査は、健康診査として「必要」と回答した人は9割を超えており、その理由は「口腔の健康をチェックしたい」199人(71.1%)、「自発的に医療機関に行くのは難しい」79人(28.2%)としている。

また、「必要ない」15人(5.0%)と回答した人の理由は、「痛くなったら歯科診療所に行けばよい」10人(66.7%)、「歯科診療所での個別健診にするべき」5人(33.3%)となっている。

### 質問7 過去の受診状況

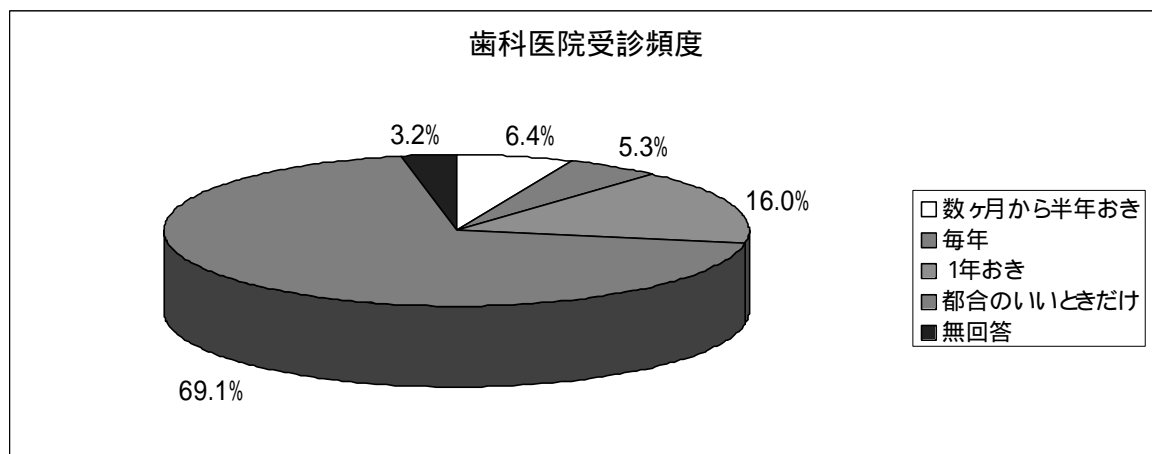
「あなたは、今年度受診した口腔健康診査の他、以前に歯科健診を受けたことがありますか。  
(複数回答有)

回答項目	件数	割合
1 受診したことがない	191	63.0%
2 歯科医院で受診したことがある	94	31.0%
3 市町村で実施した歯科健診を受診したことがある	20	6.6%
4 無回答	5	1.7%



**質問7-2 質問7で「歯科医院で受診したことがある」の頻度**

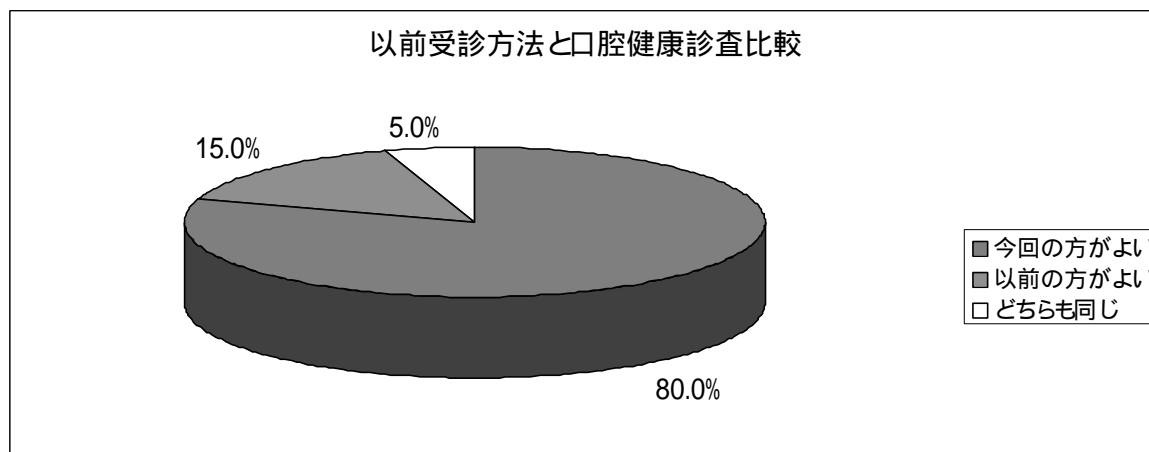
	回答項目	件数	割合
1	数ヶ月から半年おきぐらいに受診している	6	6.4%
2	毎年受診している	5	5.3%
3	1年おきぐらいに受診している	15	16.0%
4	都合のいいときだけ受診している	65	69.1%
5	無回答	3	3.2%
	計	94	100%



**質問7-3 質問7で「市町村で実施した歯科健診を受診したことがある」の感想**

「その時の健診方法と今回の口腔健康診査方法をくらべてどう思いましたか」

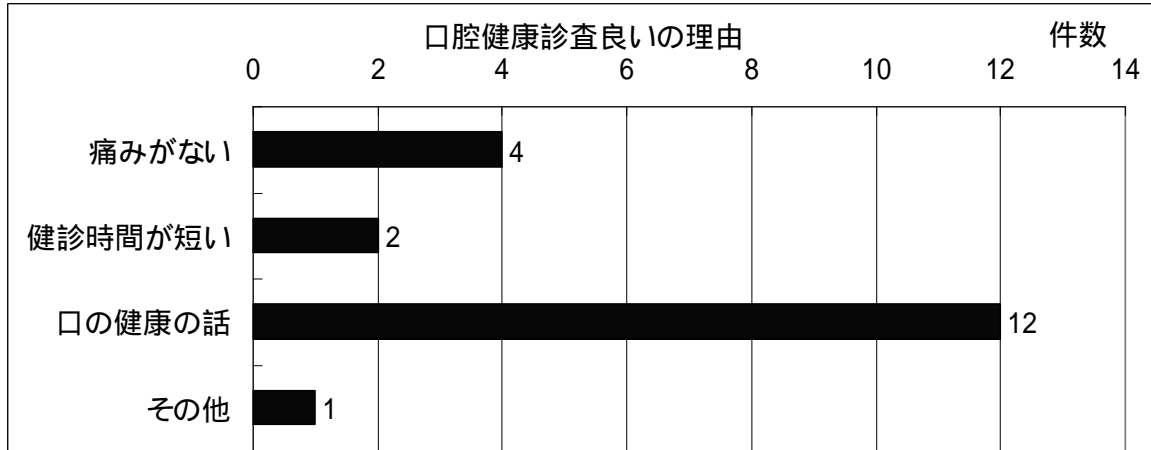
	回答項目	件数	割合
1	今回の口腔健康診査の方がよい	16	80.0%
2	以前に実施した健診方法の方がよい	3	15.0%
3	どちらも同じ	1	5.0%
4	無回答	0	0.0%
	計	20	100%



質問7-4 質問7-3で「今回の口腔健康診査の方がよい」の理由

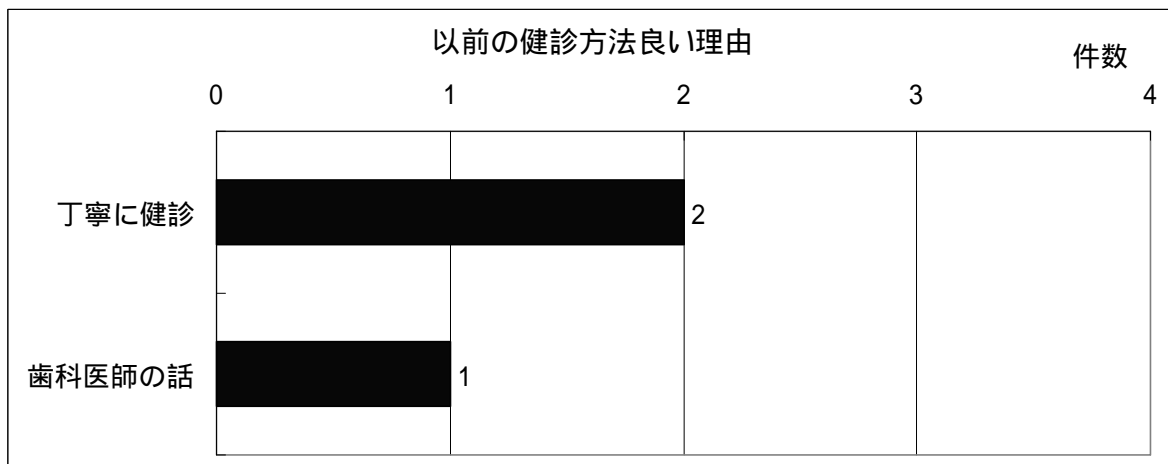
(複数回答有)

回答項目	件数	割合
1 痛みがなく健診できるのでよい	4	20.0%
2 健診時間が短くてよい	2	10.0%
3 口の健康の話を聞けたのでよい	12	60.0%
4 その他	1	5.0%
5 無回答	0	0%



質問7-5 質問7-3で「以前に実施した健診方法の方がよい」の理由

回答項目	件数	割合
1 丁寧に健診してもらえたのでよい	2	66.7%
2 歯科医師の話を聞けたのでよい	1	33.3%
3 その他	0	0%
4 無回答	0	0%



過去の歯科健診受診状況については、今まで受診したことがなかった人が191人で、63.0%の割合であった。

年齢階級別にみると、60歳以上で今まで受診したことがなかった人の割合は半数を割っているが、他の年齢階層では約6割～7割が受診したことがなかったとなっている。

歯科医院で受診したことがある人94人(31.0%)の受診頻度は「都合のいいときだけ受診している」65人(69.1%)、「1年おきぐらいに受診している」15人(16.0%)の回答が多かった。

市町村で実施した歯科健診を受診したことがある人20人(6.6%)のうち16人(8割)は、今回の口腔健康診査方法の方が良いとし、その理由は「口の健康の話が聞けたのでよい」12人(60.0%)、「痛みがなく健診できるのでよい」4人(20.0%)、「健診時間が短くてよい」2人(10.0%)の順となっている。

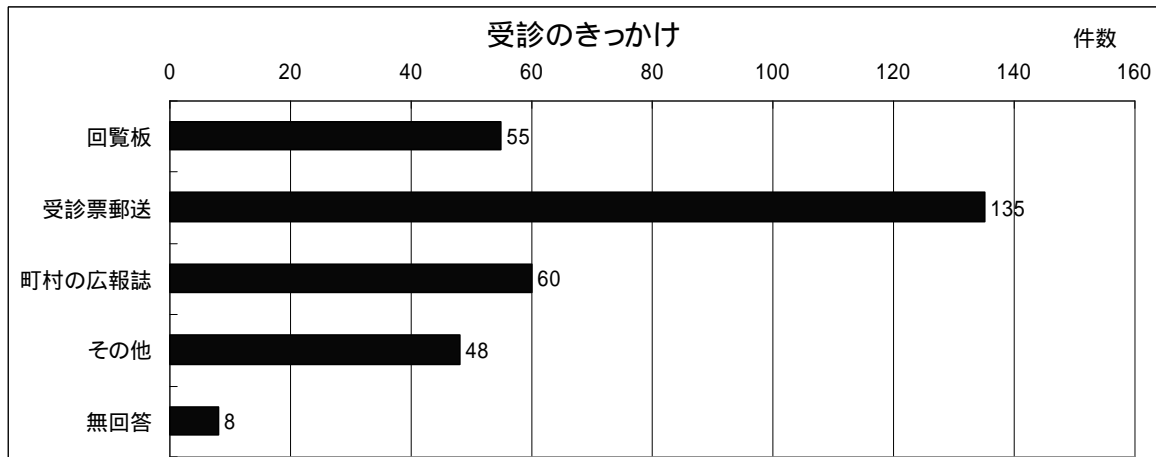
また、以前に実施した健診方法の方がよいと答えた人は、3人(15.0%)で、その理由は「丁寧に健診してもらえたのでよい」2人(66.7%)、「歯科医師の話が聞けたのでよい」1人(33.3%)となっている。

## 質問8 受診のきっかけについて

今年度の口腔健康診査があるのを知ったのは、何からですか。」 (複数回答有)

回答項目	件数	割合
1 回覧板の実施案内で知った	55	18.2%
2 受診票(個人通知)が送られてきて知った	135	44.6%
3 市(町・村)の広報誌を見て知った	60	19.8%
4 その他	48	15.8%
5 無回答	8	2.6%

その他の意見 町村での基本診査と同時に受診できた。健診会場ですすめられた。等26件 市町村職員や保健協力員にすすめられて。等7件 家族、友人に聞いた等2件 健康まつりで等2件 関係者だった等2件



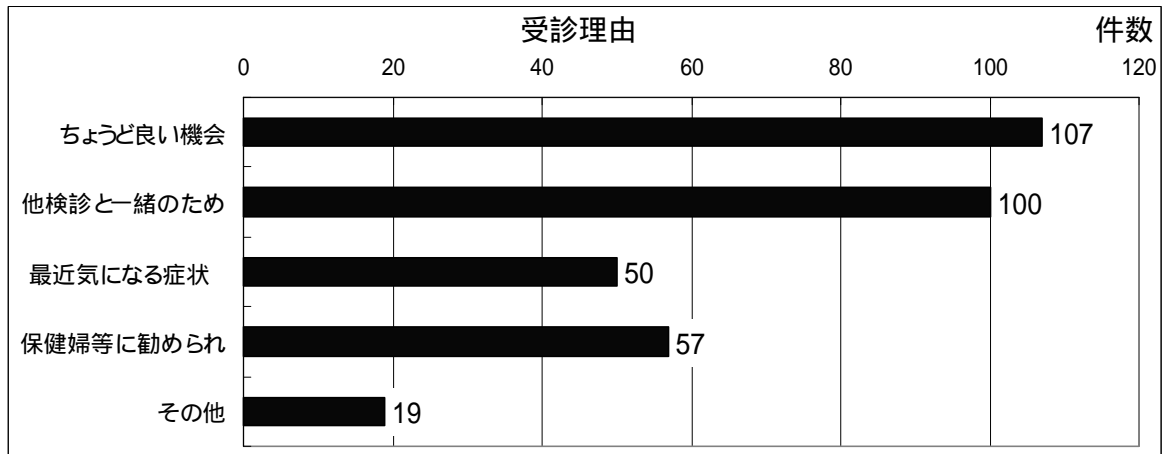
健診実施の周知方法について住民は何を手がかりとしているのかを調査するための設問であるが、受診票(個人通知)が送られてきて知った135人(44.6%)、「市町村の広報誌を見て知った」60人(19.8%)、「回覧板の実施案内で知った」55人(18.2%)の順であった。「その他」としては、他の健診へ行ってその場ですすめられて知った26人等であった。

## 質問9 受診しようと思った理由

今年度の口腔健康診査を受診した理由は何ですか。」 (複数回答有)

回答項目	件数	割合
1 今まで歯科健診を全くはほとんど受診したことがなく ちょうどよい機会と思ったから	107	35.3%
2 他の検診と一緒に受診できるため	100	33.0%
3 最近口の中に気になる症状があったため	50	16.5%
4 保健婦、市町村職員、又は保健協力員等にすすめられたため	57	18.8%
5 その他	19	6.3%
6 無回答	2	0.7%

その他の意見 いつもは平日に半日休んで受診してたのが、今回は土曜日で仕事が休みだったので時間があり受診できた。個人で歯科健診はなかなか大変なので大変助かりました。等5件 昨年度歯科に通院しちょうど1年近くたっていたので確かめの意味で。等4件 自分では気をつけていますが、まだ知らない所に虫歯などないかなと思って。等2件 パノラマ写真が撮れるから。 歯はとても大事と日頃から思っているため。 40過ぎて歯の大切さを感じた。 歯科健診をゆっくりに受診したかったため。 妻にすすめられたため。



口腔健康診査があるということを知って、自分も受けてみようと思った理由は、「今まで歯科健診を全く又はほとんど受診したことがなく、ちょうどよい機会と思ったから」107人 (35.3%)、「他の検診と一緒に受診できるため」100人 (33.0%)が多く、保健婦、市町村職員、保健協力員等にすすめられたからが57人 (18.8%)で、気になる症状があったため受診した人は50人 (16.5%)であった。

**質問10 他の検診との同時実施について**

「市町村によっては、口腔健康診査を基本健康診査 (血圧測定、尿検査、心電図検査、眼底検査等を行う健康診査)やがん検診 (胃がん、子宮がん、肺がん等)と併せて実施しているところがありますが、このように口腔健康診査と他の検診を併せて実施することについては、どの様にお考えですか。」

回答項目	件数	割合
1 何回も検診に足を運ぶ必要がないので、良いと思う	253	83.5%
2 検診時間が長くなるので、良くないと思う	18	5.9%
3 検診順序が混乱しやすいので、良くないと思う	5	1.7%
4 口腔健康診査は他の検診と一緒に受けたくない	18	5.9%
5 その他	6	2.0%
6 無回答	8	2.6%

その他の意見 係の方からゆっくりと歯について、又磨き方などのお話を親切に聞く事ができるので別のほうがよい。最近歯に関心がなかったのが良いと思います。定期的に受ければ自分にも歯にも良いと思う。



口腔健康診査と基本健康診査やがん検診の同時実施については、83.5%の人が「何回も検診に足を運ぶ必要がないので良いと思う」と回答しており、「検診時間が長くなるので良くない」「他の検診と一緒に受けたくない」と回答した人は僅かであった。

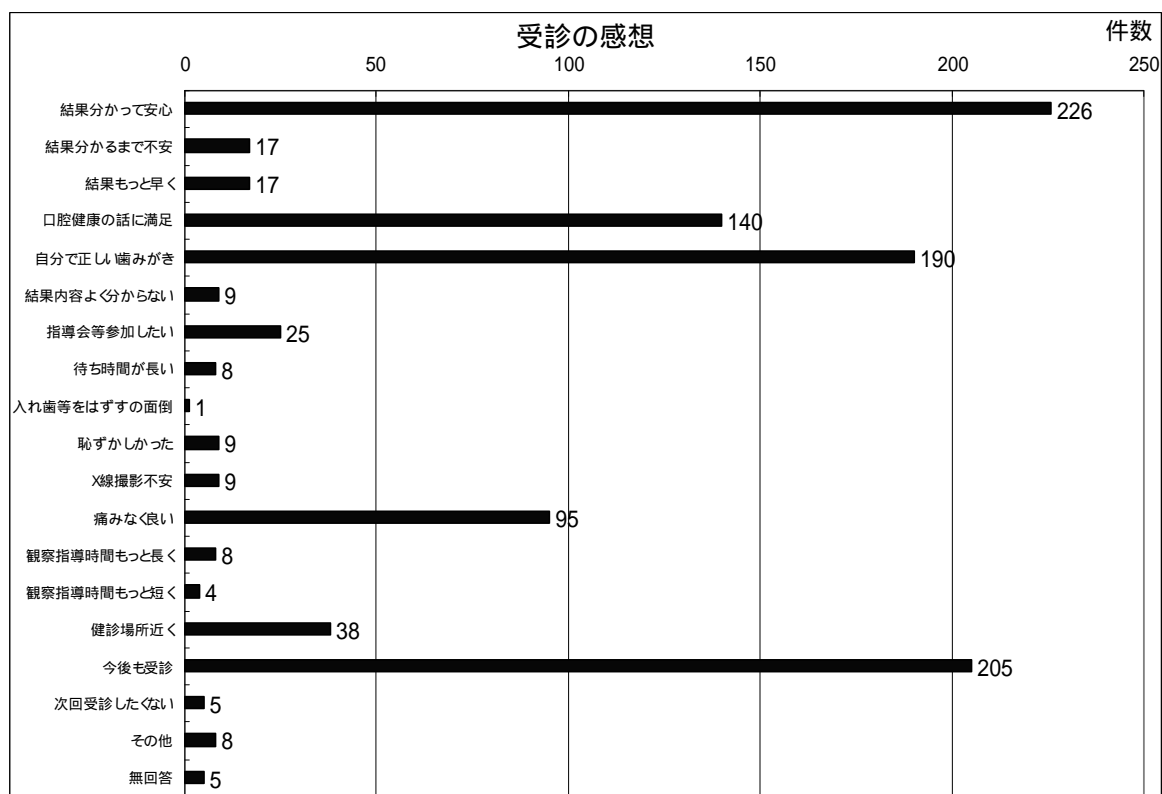
### 質問11 健診を受けた感想等

「今年度、口腔健康診査を受けて感じたことは何ですか」

(複数回答有)

	回答項目	件数	割合
1	結果(口腔の健康状態)が分かって安心した	226	74.6%
2	結果がわかるまで不安だった	17	5.6%
3	結果がもっと早く分かればよいと思う	17	5.6%
4	口腔の健康について話が聞けたので満足している	140	46.2%
5	話を聞いて、自分で正しい歯みがきをしている、又は今後しようと思う	190	62.7%
6	結果の内容がよく分からなかった	9	3.0%
7	結果の説明会や歯みがきの指導会、生活習慣の指導会等があったら参加	25	8.3%
8	待ち時間が長くて大変だった	8	2.6%
9	入れ歯等をはずすのが面倒だった	1	0.3%
10	人前で口を開けるのが恥ずかしかった	9	3.0%
11	パノラマレントゲンを撮る時不安だった	9	3.0%
12	痛みがなく健診ができたのでよかった	95	31.4%
13	口の中の観察や指導時間は、もっと長い方がよい	8	2.6%
14	口の中の観察や指導時間は、もっと短い方がよい	4	1.3%
15	健診の場所を近くしてほしい	38	12.5%
16	今後も受診しようと思った	205	67.7%
17	次回は受診したくないと思った	5	1.7%
18	その他	8	2.6%
19	無回答	5	1.7%

その他の意見 口腔観察、指導時間5分ぐらいがよい。3件 口腔観察、指導時間10～30分ぐらいがよい。3件  
 次回は受診しなくても良いと思った。そんなに悪くないから。 質問に対してもっと詳しく教えてほしい。 指導要領がしっ  
 かりしていて良かった。 自分の歯がある間は受診したいと思う。 悪い結果のとき、適切な医療機関を紹介してほしい。

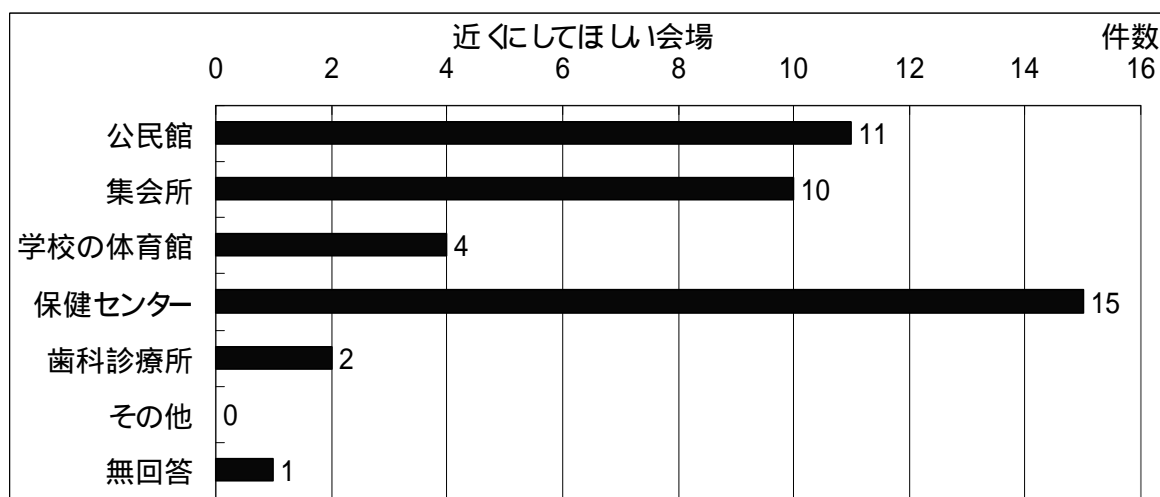


質問11-2 質問11で「健診の場所を近くにしてほしい」の場所

「健診の場所はどういった所がいいですか」

(複数回答有)

回答項目	件数	割合
1 公民館	11	28.9%
2 集会所	10	26.3%
3 学校の体育館	4	10.5%
4 保健センター	15	39.5%
5 歯科診療所	2	5.3%
6 その他	0	0.0%
7 無回答	1	2.6%



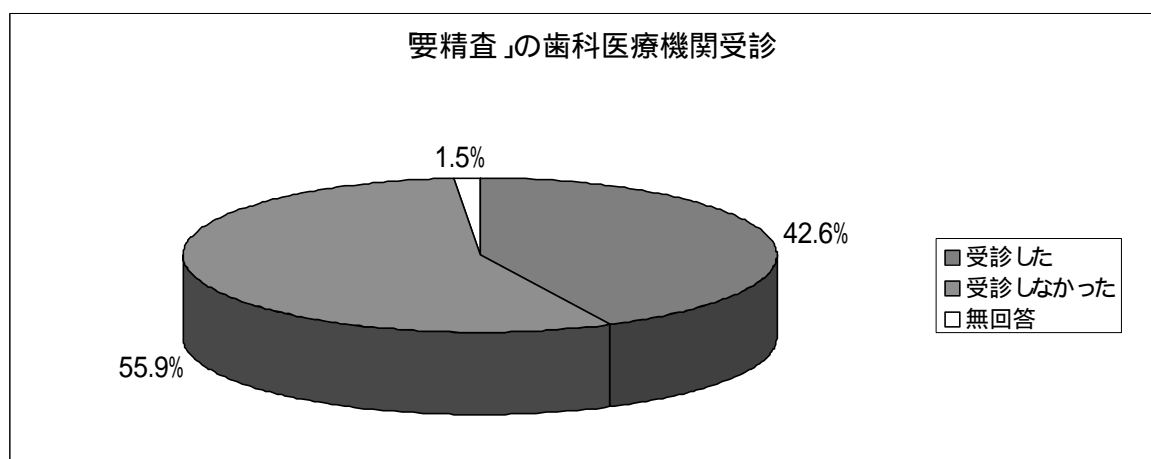
口腔健康診査を受診しての感想としては、「結果(口腔の健康状態)が分かって安心した」との回答が最も多く(226人)、次いで「今後も受診しようと思った」(205人)、「自分で正しい歯みがきをしている、又は今後しようと思う」(190人)、「口腔の健康について話が聞けたので満足している」(140人)、「痛みがなく健診ができたのでよかった」(95人)の順となっている。

また、「健診の場所を近くにしてほしい」(38人)の場所については「保健センター」(15人)、「公民館」(11人)、「集会所」(10人)となっている。

質問12 受診結果

「今年度の口腔健康診査の結果(総合判定)で『要精査』と判定されたとき、歯科医療機関を受診しましたか。」

回答項目	件数	割合
1 受診した	58	42.6%
2 受診しなかった	76	55.9%
3 無回答	2	1.5%
計	136	100%

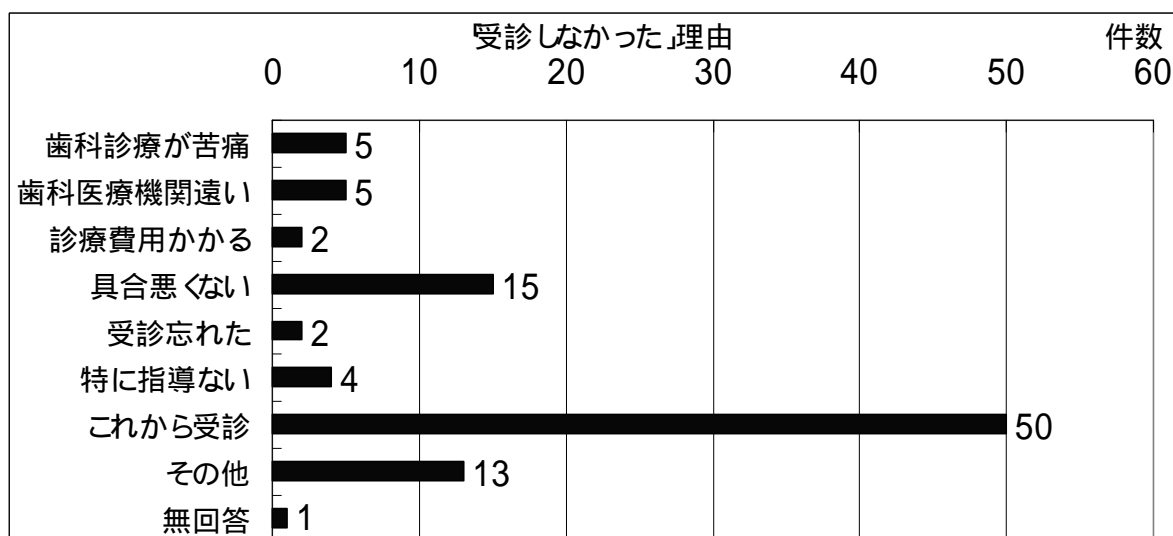


質問12-2 質問12で「受診しなかった」の理由

(複数回答有)

回答項目	件数	割合
1 歯科診療が苦痛だから	5	6.6%
2 歯科医療機関が遠いから	5	6.6%
3 診療費用がかかるから	2	2.6%
4 具合が悪くないから(自覚症状がない)	15	19.7%
5 受診するのを忘れた	2	2.6%
6 特に指導がなかったから	4	5.3%
7 これから受診しようと思う	50	65.8%
8 その他	13	17.1%
9 無回答	1	1.3%

その他の意見 忙しさにかまけて受診しなかった。時間がなかった。等 3件 仕事を持っているので時間的余裕がない。仕事休んで行きたくない。等 3件 信頼できる歯科医が見つからない。等 2件 要精査が非常に多く受診された多数の人が同じ要精査だろうと早合点している。 歯石だけだから。



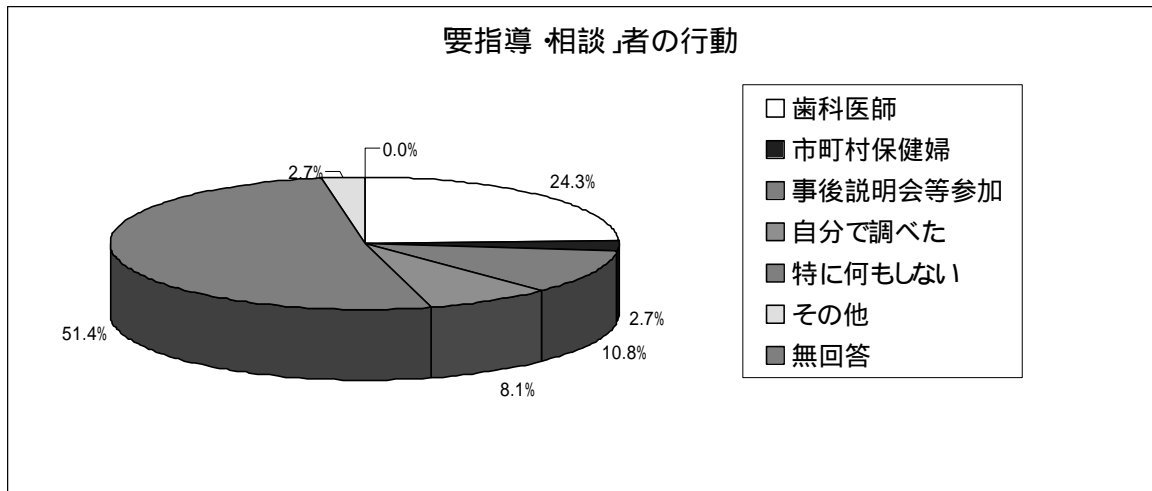
総合判定で「要精査」と判定されて歯科医療機関を受診した人は58人(42.6%)で、受診しなかった人76人(55.9%)の方が多かった。

受診しなかった理由としては、「これから受診しようと思う」(50人)、「具合が悪くないから(自覚症状がない)」(15人)が多かった。

質問13 受診結果

「今年度の口腔健康診査の結果(総合判定)で「要指導・相談」と判定されたとき、どなたかに指導を受けたり相談しましたか」

回答項目	件数	割合
1 歯科医師に相談し指導していただいた	9	24.3%
2 市町村保健婦に相談し指導していただいた	1	2.7%
3 市町村で開催した事後説明会等に参加した	4	10.8%
4 自分でどうすればよいか調べた	3	8.1%
5 特に何もしなかった	19	51.4%
6 その他	1	2.7%
7 無回答	0	0.0%
計	37	100%



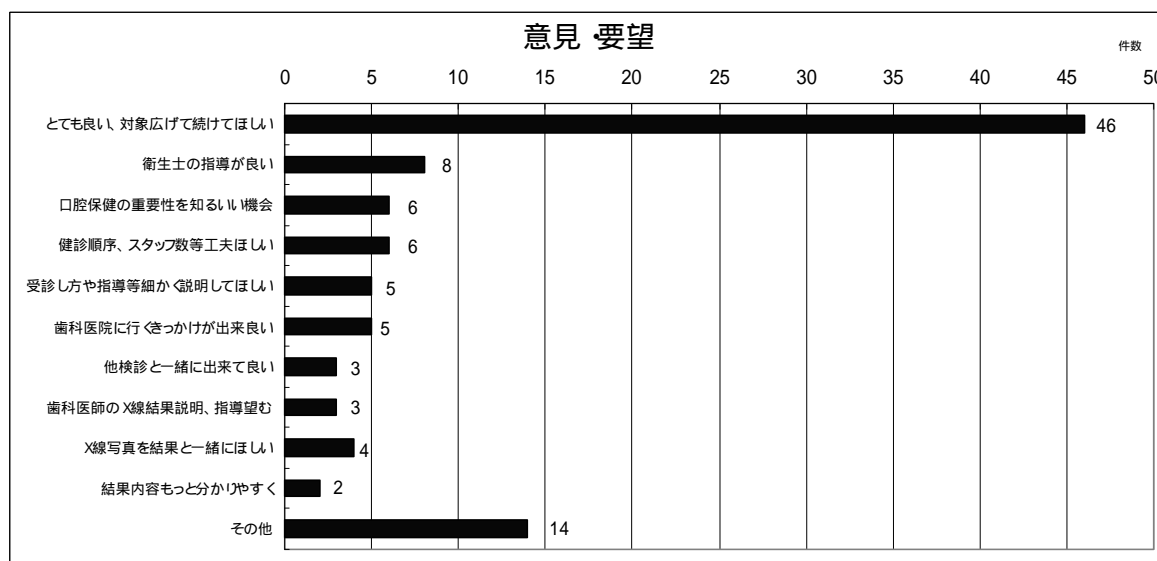
総合判定で「要指導・相談」と判定されて実際に指導等を受けた人は、歯科医師に相談し指導していただいた」9人(24.3%)、「市町村で開催した事後指導会等に参加した」4人(10.8%)となっている。「特になし」が19人(51.4%)で半数を超している。

#### 質問14 口腔健康診査についての意見・要望

「その他口腔健康診査について、何か意見がありましたら記入願います」  
(市町村に対する要望、健診機関に対する要望、その他何でも結構です。)

(自由記述で回答された結果を類似内容により分類して集計した)

意見・要望	件数
1 予防、早期治療が出来るとも良いこと。これからも受診したいので、対象を広げて続けてほしい。	46
2 歯科衛生士の指導が良かった。指導された方法をつづけている。	8
3 口腔保健の重要性を知るいい機会。	6
4 健診順序、時間、スタッフ数に工夫がほしい。	6
5 もう少し受診のし方や指導等を細かく説明してほしい。	5
6 歯科医院に行くきっかけが出来良い。	5
7 他の検診と一緒に出来て良い。一緒にしてほしい。	3
8 歯科医師によるX線結果説明及び指導を望む。	3
9 X線写真を結果と一緒にほしい。	4
10 結果の内容をもっと分かりやすく。	2
11 その他	14



## 「口腔健康診査についての意見・要望」についての具体的記載内容

これからも受診したいので、是非続けてほしい。対象を広げてほしい。等24件 今回  
は年齢制がありましたが、こんな良い事は皆やってほしい。等3件 8020運動を奨励  
しているのにもっと早く広く浸透させるべきだと思います。特に歯に関しては学校ではマメにチ  
ェックしていたのに卒後パツタリとノーチェックになり、職場で成人病検診はしても歯だけは自  
己管理の域になっていました。今の形がいいか悪いかはまだわかりませんが、何らかの形で歯の  
健康維持の意識づけをしていけばよいと思います。 村内で受診できるので、より多くの  
の方々が8020に興味を持つような関係者のより一層の進め方を願いたいものです。予防医療、  
早期治療が出来るとても良いこと。 1年に1度は必ず全村民が受けるようにするべき。口  
は毎日食べ物食べるのに使うので、今までこういうのがなかったのが不思議です。 ハイ  
テク診査に驚いた。指導時間もう少し長く。初めて受診したが感謝している。 時々治療  
した歯が悪くなったりして歯科に行きますが(1年か2年に一度くらい)本当に良い状態なのか  
心配がありました。今回の健診で現状維持とのことでホッとしています。できれば毎年受けたい  
と思いました。 自分の大切な歯を定期的にチェックする為にも、毎年健診を実施してほ  
しい。 村で口腔診査出来た事本当に良かった。とても良い企画。等2件 住民健診  
だけでなく職場健診としてもやってほしい。(若い年代に) 健康診査の科目が増えること  
は多いに賛成です。病気にかかる前に予防できることはうれしいかぎりです。 自分のこ  
とでするので出来る限り興味を持って、大事にしておいしく食べたいと思います。健診していただ  
いて「異常なし」これ程幸せなことはないと思いました。以前からこういうことを望んでおりま  
した。 私はすぐ歯ぐきが腫れやすいので、自分でも歯みがきなどに注意してこれからも  
受診したい。 1年に1回受診したい。等3件 自分の結果がよくわかり安心してい  
ます。今後毎年総合検診に取り入れてほしい。 少くならと医者にはいかないもの  
です。年に一度ではっきりとした結果がわかるのは受ける側としても安心できるものです。これ  
からも続けてほしい。 毎年レントゲンまでもいかなくても、歯科健診を実施していただ  
ければ、歯について相談したり、指導を受けたり今までと違った目で歯を考えられると思います。  
30代に口腔健康診査を受けることができたなら効果が大きいと思います。 このような  
診査があることを知らなかったので多くの方に周知してほしい。 この種の健康診査が普  
及し公費、個人負担が少なく多くの方が利用されると良いと考えます。大いにPRに努め口腔  
健康診査の導入を各市町村に働きかけを要望します。 総合検診と一緒に受けることがで  
きたので良かった。次回は多くの人に参加する様よびかけたいと思います。

良くわかっているつもりでしたが、実際歯ブラシを持っての指導を受けると自分でみがいて  
いるのと随分違うことがあらためてわかった。自分以外の人に指導してもらうことは大変良い。  
また指導してくださった方の印象もとても良かった。他指導が良かった。等3件 40代  
になって急激に歯の衰えを感じる。私達の小中学生時代は、親が歯の治療に無関心だった。今の  
子供達は良い環境にあって羨ましい。今残っている歯を少しでも長く残せるようご指導を受けな  
がら手入れしていきたい。 歯みがきのし方大変役立っています。歯石もとれました。治  
療はしていますが、まだ自分の歯が全部あります。これからも注意して8020目指して頑張り  
たい。(80の方が無理かもしれませんが) 今まで簡単に磨いていましたが、指導後時間  
をかけてきちんと磨くよう心掛けている。これからも診査を続けてください。等2件 村  
の成人病の申し込みの時に口腔診査が目にとまり受けて良かったと思いました。話も聞いていま  
したので特別不安ありませんでした。とても親切に説明していただき、又歯磨きのし方なども

教えていただきありがとうございました。お陰様で1日も早く治療が出来たこと感謝しております。今後ともよろしく申し上げます。今回初めて町の検診で行われましたが、歯磨きの指導がありよかったです。歯医者に行く度に注意をうけますがじっくり教えてもらえました。歯みがきの正しいし方を教えていただき実行したところ、歯ぐきの出血もなくなり受診して本当によかったです。今まで違った歯みがきをしていたため、今回みがき方を教えていただき実行しております。前の時間からすると時間もかかるのですが、みがいたという実感を感じていません。以前ですと私がみがく時間一番早かったのですが、今は逆にできてしまいました。

痛みがなくても口の中の病気から大きな体の病気にもつながる事があるため、軽く見ず定期的に検査を受け自分の体は自分で守る様つとめていきたい。今回はそれを知るいい機会でした。等2件 正しい歯みがきの方法、口腔健康診査の重要性をもっと町民に認識してもらう必要があるのではと思いました。受診し、また説明会に行きいろんな事も知りとても良かったと思う。今まで歯には多少自信があったのですが、外見だけでは判断が出来ない事に気がつきました。大熊町では今回初めての試みでしたが、他町の方々にも健診の機会があればよいという話を聞いています。今回の健診後、再度歯は大事だということを実感しています。口腔健康診査があるという事を知りませんでした。1度は自分の歯の状態がどうかを知っておくのは、良い事だと思います。

他検診と同時受診だったため、がん検診の番号札を持ちながら歯科に行っていた人が多く混乱した。がん検診終了後に歯科受診がよいと思う。今年度は試験的实施だと思いますが、これが基本診査に組み込まれると待ち時間も大変長く混乱すると思う。歯科衛生士の方々がもっと大勢でできれば解決できるのかもしれない。細かくいろいろなことを教えていただいたので為になりとても良かったです。丁寧な指導でしたので、時間がかかった事は納得しましたが、先生は2～3名いらした方が良かったと思います。流れ、パノラマの後すぐ歯科指導を実施して基本健診へ進むのがよい。胃の後では口の中が白くて先生に失礼な気もした。総合検診の待ち時間を利用して歯磨き指導、食事のとり方、栄養摂取、各種運動指導等をすれば待ち時間気にならないのでは。受診時間をもっと自由に出来ると余裕が出ると思う。

もう少し細かく説明してほしいと思う。もう少し詳しい方に診ていただきたい(希望)パノラマを撮る時説明不足で不安だった。パノラマレントゲンがどの様なことをするのか、健診車に入る前にもう少し説明があっても良いのではないかと思います。それで健診を受けなかった人もいたようでした。指導がもう少し具体的にここが良くないから良くみがくようにとか、状態を説明してもらえれば良いかと思います。

人数的には受診者が少なかったにもかかわらず、待ち時間が長かった。しかしながら、歯科医院には悪い所がないと来院しませんが、歯科健診を受診できとても良い機会でした。健診結果から50歳になって初めて歯石を取りました。自分でもびっくりしています。もう少し若い頃取ってほしかった。歯は痛くならないと歯医者へ行かないので、大変良い事だと思います。等2件 今回の健康診査の結果で歯科医院に行くきっかけができたと思っています。先生も結果を見ながら治療にあたってくれているので、私自身もきちんと治そうと思っています。

町の健診と一緒に出来ることは大変良い。 乳がんや子宮がんも一度にできるとうれしい。  
他検診と一緒によかった。

歯科医師によるレントゲン結果及び指導をしてほしい。 大変でも結果の説明を一人一人していただければ、大変うれしいのですが。 「口腔診査」ということなので私の場合歯ではなくて、口の中ができていた(口内炎だと思う)ので受診した。歯以外の口の中のトラブルを診てくれる先生がいれば良いと思う。歯を含めた全身的な事を診てもらえたらと思う。

本人が天災、事故等で万一に死亡した時歯型照合が必要な時があるので、レントゲン写真(保存用)をいただければ良いと思います。 「要精査」の場合レントゲン写真を同封していただければ、歯医者さんに行った時にあらたに撮らなくてすむし、あれば役立つと思う。等 4 件

結果を持って歯科医に行き指導を受けようと思ったが、実際のパノラマレントゲン写真が添付されていないので、結局その場でもう一度レントゲンを撮って指導を受けた。これでは、意味がない。

現在左顎関節が痛く口を大きく開けることが出来ません。それなのに異常がないとの結果に少し落胆しています。そもそも口腔健康診査の内容、意味がよく分かりません。以前テレビで口の中をみればその人の健康状態がよく分かるとの情報があったので、今回受診したのですが、そういう内容のものではなかったのですね。 結果の内容をもっとわかりやすく、それをどうしないとかどのようになるかなど詳しく書いてもらえれば良いと思った。

歯ブラシと鏡等いただいて得したようだった。 事後説明会をわざわざ日曜日にもうけてくださったのに出席者が少なく、遠方よりこられた係員、町の係員の方々に申し訳ない気分でした。私自身にとっては大変参考になりました。 診査の結果より歯科医師の診査の方が判定が軽かった。(精査受診者) 今回私達の町では指導の場所が調理実習室であったため何となく落ち着かない感じであった。プライバシーの事も考えてつい立などあったらもっと質問も出来たような気持ちでした。(来年度に期待) 事後指導会の際、もっと個別に相談、話が出来た時間を多くもってほしかった。スライドも多く、自分に当てはまる事が少ないと興味を持って話を聞くことができなくなってしまいます。健診結果も一人一人違うので個別を主にいただければと思います。 要精査できたが、いつ歯科医に行けるかわからないので、それまでの予防処置とかそれ以上進行しない自分でできる手当の仕方等記入してあれば助かる。 歯科医療機関を紹介してほしい。 自分の歯が、健診の結果あまりにも要精査が多いので、他の人達も多分に同じ要精査だろうと逆に安心感がでてしまった。今度その割合を表してはどうか。

すべての先生がそうではありませんが、歯科医の先生はとても忙しく細かい説明がないまま治療に入るが、口腔診査は自分がよくわかり良いことと思う。 虫歯になりかけたらすぐに歯科医に行くので、今回の検査はあまり必要性は感じませんでした。 歯は磨けばよいという考えでしたが、「8020」には感心がありました。磨き方によって歯と歯ぐきが健康になること等、大変参考になりました。私はこれから要精査なので受診するつもりですが、歯科衛生士のいる歯科医院に...という事ですがどこの歯科医院に通院すればよいか迷いはじめました。どこの医院とははっきり言えないかもしれませんが、本音は知りたいです。 事後指導の全体的な話はもう少し短く、個別指導の時間がほしい。 こうした診査が同時(他検診と)にある事を事前にしらせてほしかった。 今回は土曜日で仕事が休みだったので時間が有り受診できた。今後も土曜日をお願いしたい。

## 市町村アンケート調査結果

質問1 市町村名

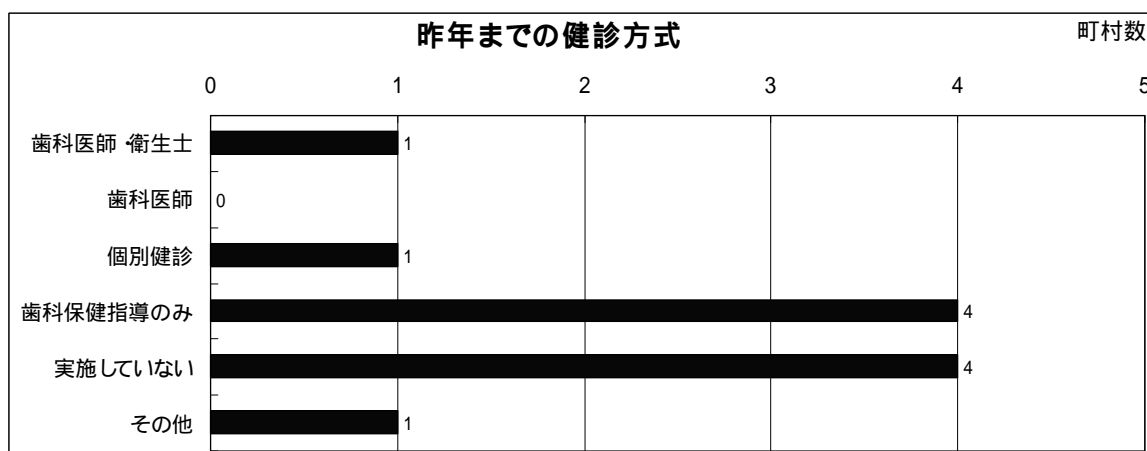
質問2 担当課・係

質問3 昨年までの健診方式

昨年まであなたの市(町・村)で成人に対する歯科健診は、どのような方式で実施していましたか。」

	回答項目	件数	割合
1	歯科医師による集団健診方式で実施し、歯科衛生士による保健指導も実施した	1	10%
2	歯科医師による集団健診方式で実施し、歯科衛生士による保健指導は実施しなかった	0	0%
3	歯科医療機関による個別健診方式で実施した	1	10%
4	健診は実施していないが、歯科保健指導は実施した	4	40%
5	健診も歯科保健指導も実施していなかった	4	40%
6	その他	1	10%

その他の意見 健診は実施せず、町民へは広報やCATVなどで知識の普及のみ



「歯科医師による集団健診と歯科衛生士による保健指導方式」で実施していた市町村が1(10%)、歯科医療機関による個別健診方式」で実施していたが、1(10%)であった。

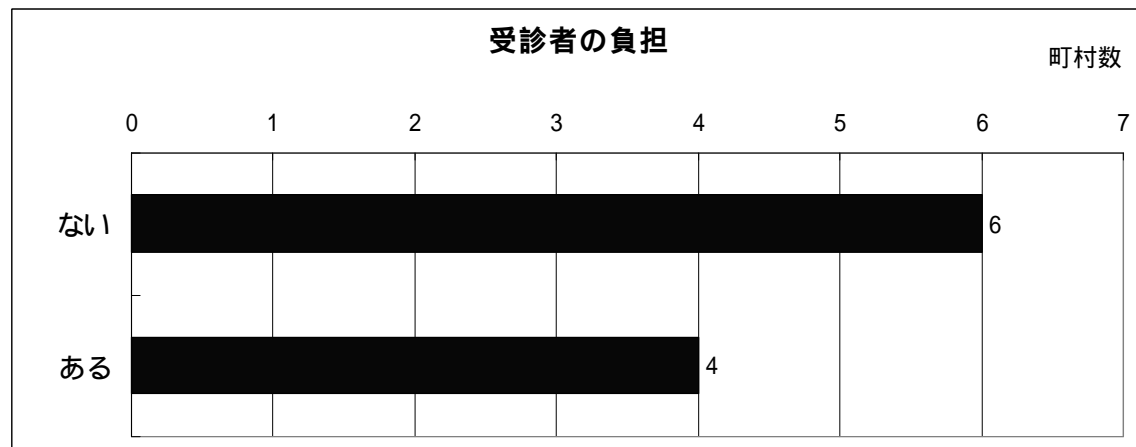
また、歯科保健指導のみ実施の市町村は4(40%)で、特に何も実施していなかった市町村は4(40%)であった。

質問4 受診者の負担

今年度実施した口腔健康診査で、受診者の一部負担金はありましたか。」

	回答項目	件数	割合
1	ない	6	60%
2	ある	4	40%
	計	10	100%

その金額 1,680円 500円 400円

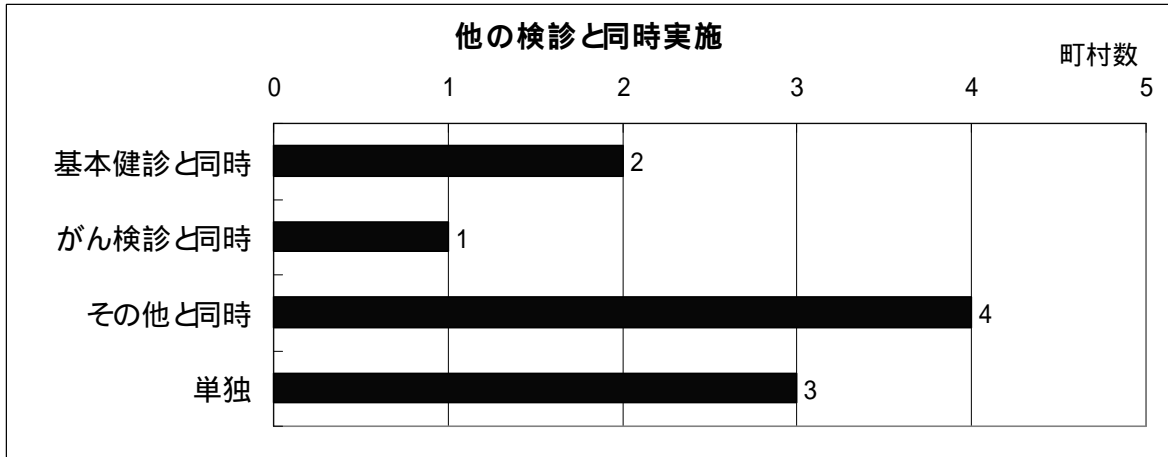


**質問 5 他の健診との同時実施について**

「口腔健康診査は、他の検診等と併せて実施しましたか。」

回答項目	件数	割合
1 基本健康診査と同時に実施した	2	20%
2 がん検診(がん検診)と同時に実施した	1	10%
3 その他( )と同時に実施した	4	40%
4 単独で実施した	3	30%
計	10	100%

同時実施の他の検診等 総合検診 3件 子宮がん検診 健康展(産業文化祭) 健康まつり 2件 2日間のみ  
基本診査



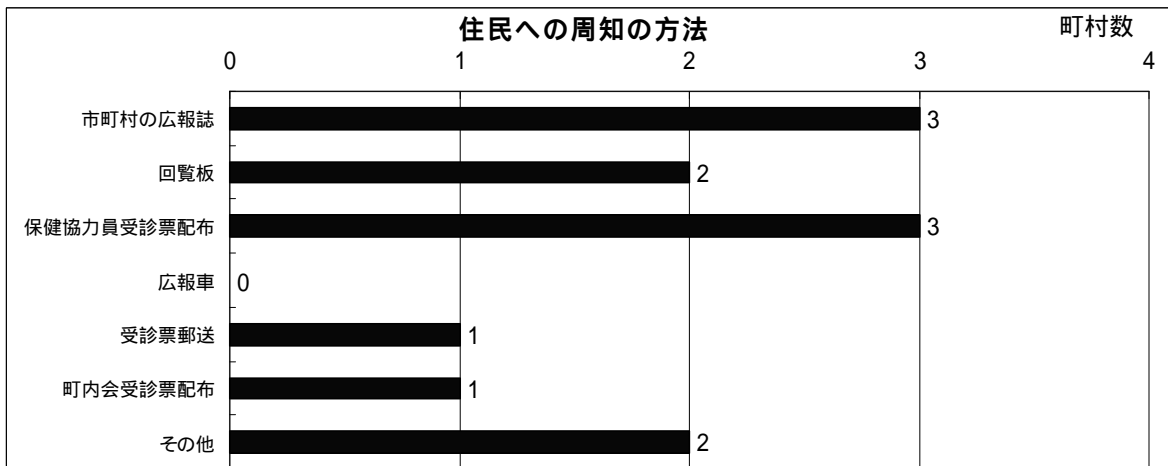
総合検診、基本健康診査、子宮がん検診、健康まつり等と同時に実施した市町村は7(70%)で、口腔健康診査単独で実施したのは3(30%)であった。

**質問 6 住民への周知の方法**

「口腔健康診査を実施するにあたり、住民への周知の方法はどのようにしましたか。」(複数回答可)

回答項目	件数	割合
1 市(町・村)の広報誌を利用した	3	30%
2 回覧板で実施案内を各世帯に配布した	2	20%
3 地区組織(保健協力員等)の協力で受診票を配布した	3	30%
4 広報車により広報した	0	0%
5 受診票を対象者に郵送した	1	10%
6 受診票を町内会を利用して対象者に配布した	1	10%
7 その他	2	20%

その他の意見 実施案内を保健推進員より全世帯に配布した。 産業文化祭チラシでの実施案内 対象者に健診の案内をし申し込みをとった 対象者全員に通知し返信用はがきを同封し確認をとり、はがきが届かなかった者については保健婦が電話で確認。 健診受診対象者に対して「口腔健康診査を実施します」というチラシを配布した。



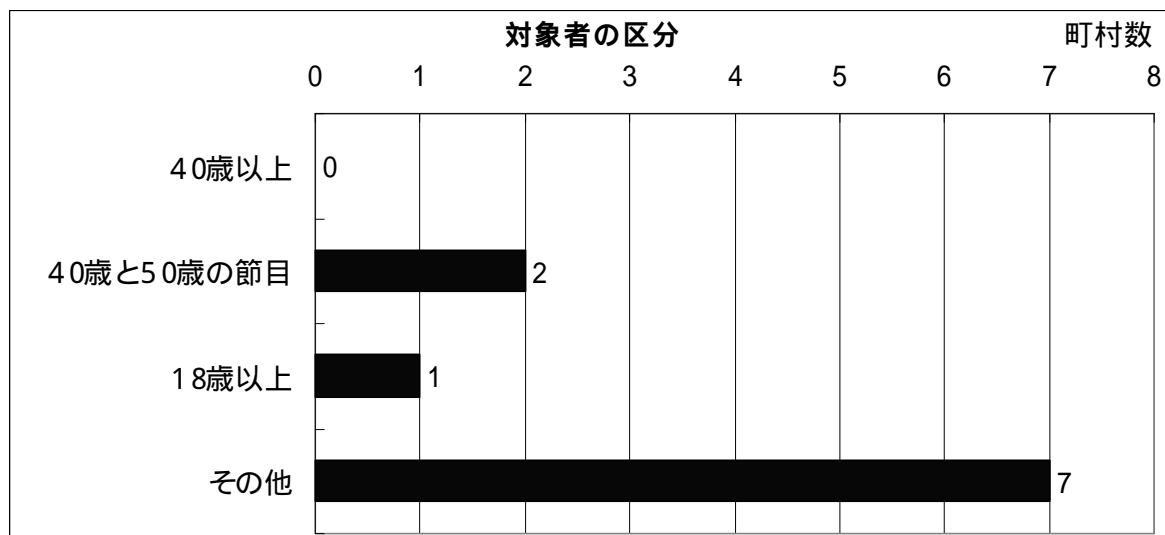
住民への周知方法としては、保健協力員、郵送、町内会組織等を使って受診票(個人票)を配布した市町村が、合わせて5と多く、広報誌3、回覧板2であった。

**質問7 対象者の区分について**

「口腔健康診査を受診できる対象年齢等を定めましたか」

回答項目		件数	割合
1	40歳以上を対象とした	0	0%
2	40歳と50歳の節目健診とした	2	20%
3	18歳以上を対象とした	1	10%
4	その他	7	70%
計		10	100%

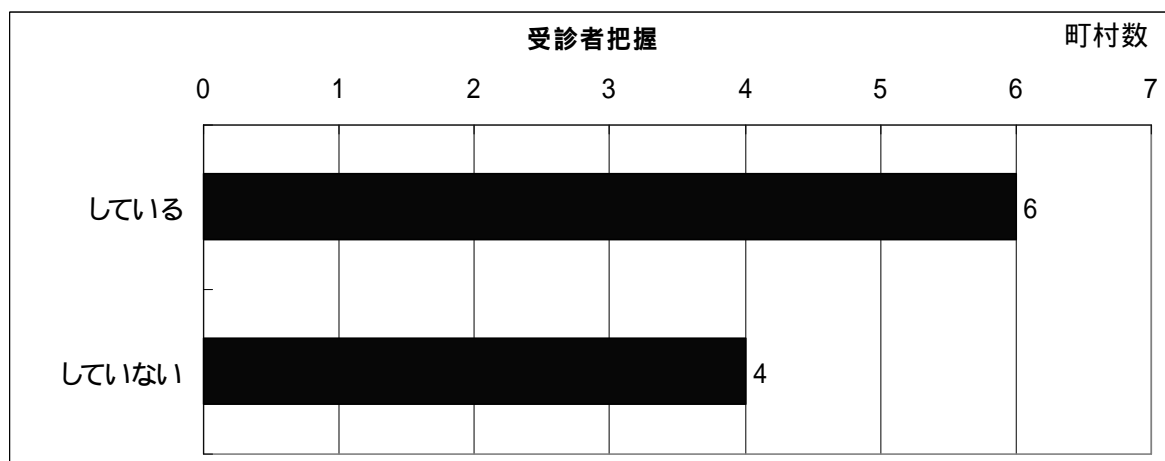
その他の意見 30歳以上 40、45、50、55、60歳の節目健診 40～59歳の女性 40～45歳 30  
～59歳 40歳以上50歳未満



**質問8 受診者把握について**

「口腔健康診査の受診者の把握はしましたか」

回答項目		件数	割合
1	把握している	6	60%
2	把握していない	4	40%
計		10	100%



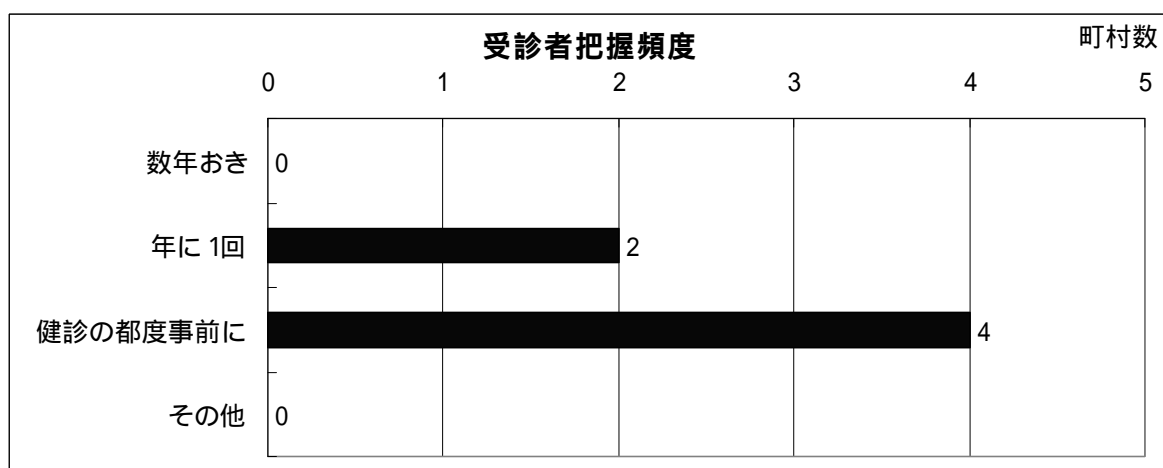
受診対象者に対して申込等を取って受診者を把握しているかの質問で、6市町村 (60%) が把握していた。

### 質問9 受診者把握頻度

受診者を把握している場合(前問で「は」の場合)、どのような方法で受診者を把握していますか(具体的に記入願います)。また、その頻度は、

	回答項目	件数	割合
1	数年おきに	0	0%
2	年に1回	2	33.3%
3	健診の都度事前に	4	66.7%
4	その他	0	0%
	計	6	100%

受診者把握の方法 申し込みより名簿作成 実施案内を各世帯に配布し、電話にて申し込みを受付した。 住民台帳より抽出し、受診希望の有無を全検診の受診把握アンケート調査と同時に実施 4月にアンケートを実施(健診の申し込みも兼ねる) 健診前に電話等で申し込みを受ける。 4月1日現在40歳と50歳を住民基本台帳より対象者名簿をだす。



### 質問10 受診者把握における問題点

「口腔健康診査の受診者を把握する際の問題点、あるいは把握できない理由がありましたら記入願います」

受診者を把握しても、健診の必要性を感じないためか、未受診者の方が多かった。

受診者を希望者としたため把握できなかった。

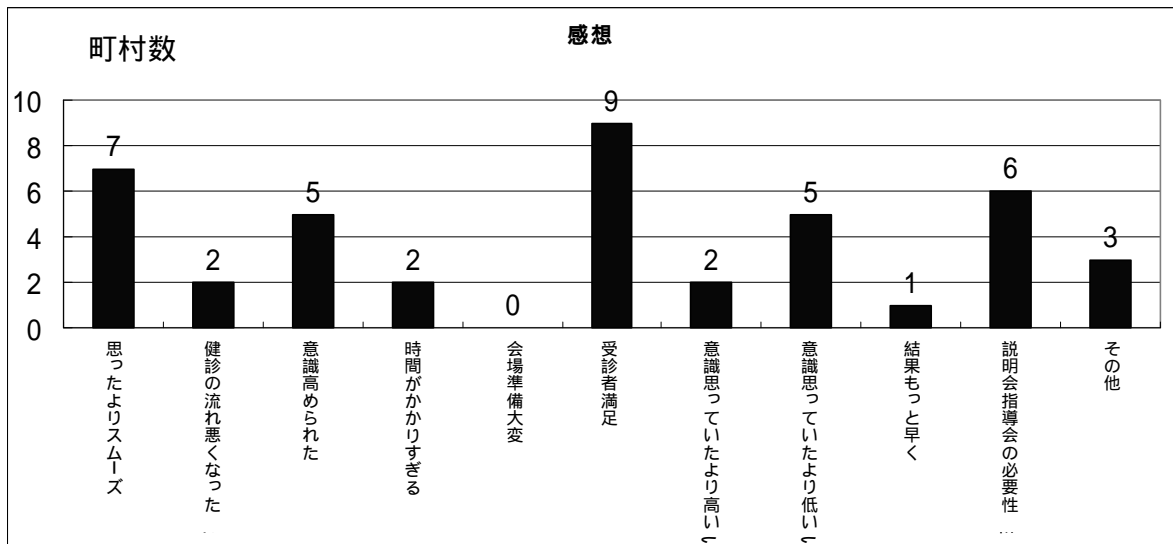
今年は初めてなので、把握方法について具体的に考えていなかった。

### 質問11 健診を実施した感想

「今年度、口腔健康診査を実施して感じたことは何ですか。」(複数回答可)

	回答項目	件数	割合
1	思ったよりスムーズに実施できたのでよかった	7	70%
2	他の検診と同時に実施したので、健診の流れが悪くなった	2	20%
3	口腔の健康に対する住民の意識が高められたのでよかった	5	50%
4	健診に時間がかかりすぎる	2	20%
5	会場の準備が大変だった	0	0%
6	受診者は満足して帰ったと思う	9	90%
7	口腔の健康に対する住民の意識が、思っていたより高かった	2	20%
8	口腔の健康に対する住民の意識が、思っていたより低かった	5	50%
9	結果がもっと早く分かれば良いと思う	1	10%
10	結果の説明会や歯みがきの指導会、生活習慣の指導会等の必要性を感じる	6	60%
11	その他	3	30%

その他の意見 今年度受診者少なくスムーズだったが、受診者が増えれば指導の所で待ち時間が増え、健診の流れが悪くなる。 要精検者の場合デジタルレントゲン結果があれば良いと思う。 要精検者の場合デジタルレントゲン結果があれば良いと思う。 産業文化祭の会場と健診会場が離れていたため受診動員しにくかった。 村民以外の受診者の対応が難しい(負担金をとらないこともあったため) 健診を効果的に実施するためのPRの必要性を感じる。 成人の歯科保健のとり組みが少なかったため、それなりの住民の意識と受けとめている。しかし受診者の意識は高いと感じた。



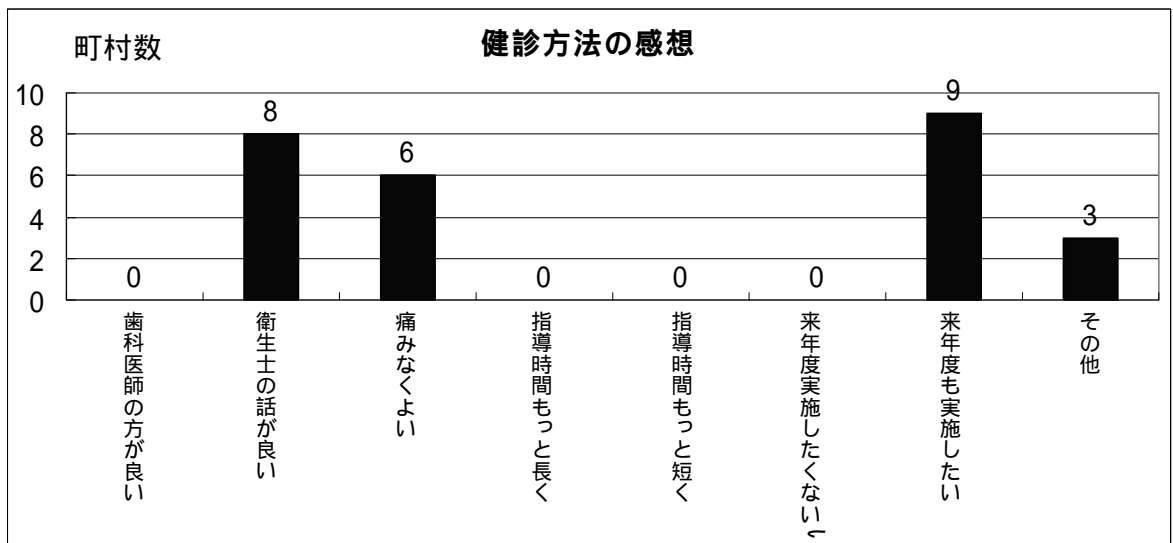
初めて口腔健康診査を実施した感想としては、受診者は満足して帰ったと思う9市町村(90%)、思ったよりスムーズに実施できたのでよかった7(70%)、結果の説明会や歯みがきの指導会、生活習慣の指導会等の必要性を感じる6(60%)、口腔の健康に対する住民の意識を高められたのでよかった5(50%)、口腔の健康に対する住民の意識が思っていたより低かった5(50%)が多かった。

#### 質問12 健診方法の感想

「デジタルパノラマX線撮影と歯科衛生士の口腔内観察及び保健指導による健診方法で行いましたが、どのように感じましたか」

	回答項目	件数	割合
1	歯科医師による健診のほうがよい	0	0%
2	歯科衛生士の話が聞けるのでよい	8	80%
3	痛みがなく健診できるのでよい	6	60%
4	口腔の観察や指導時間は、もっと長い方がよい ( )分ぐらい	0	0%
5	口腔の観察や指導時間は、もっと短い方がよい ( )分ぐらい	0	0%
6	来年度は実施したくない	0	0%
7	来年度も実施したい	9	90%
8	その他	3	30%

その他の意見 受診者が少なかったので待ち時間が少なく時間をかけて歯科衛生士の指導を受けられて良かったという声があったが、受診者数が増えると指導時間が短くならざるを得ないのが残念です。相談の内容によっては歯科医師に判断してもらうような内容もあるので、両方のスタッフがいればなおよいと思う。各歯科衛生士により指導の時間に違いがあるが、1人10分位が良いと思われる。



健診の方法に対する感想としては、来年度も実施したい9市町村(90%)、歯科衛生士の話を聞けるのでよい8、痛みがなく健診できるのでよい6となっている。

### 質問13 委託機関への要望等

「**歯周疾患健診(口腔健康診査)を健診機関に委託して行うことについての問題点は何ですか**」  
 地域歯科医師会との連携の機会が減ることがあるが、事後管理のなかで充実させていけるよう検討していきたい。

町内の歯科医療機関の口腔健康診査に対する理解を得ること。

単独に歯科に関する健康教育教室を開催しても参加者は少ないと予想される。健診という切り口から歯科指導につなげていくためには必要と思う。

### 質問14 口腔健康診査の必要性

「**集団健診としての口腔健康診査事業の必要性についてはどのようにお考えですか。次のうちから選んでください。**」

	回答項目	件数	割合
1	集団健診としての口腔健康診査は今後も必要である	10	100%
2	集団健診としての口腔健康診査は必要でない	0	0%
	計	10	100%

必要な理由

口腔健康診査から早期生活習慣病の発見と予防につないで行ける。

まだまだ口腔の健康に対する意識が低いので。

受診者からの感想で、普段歯科医を受診しても歯科衛生士さんにきめ細かい指導を受けられないので、今回受けて良かったとあったので。

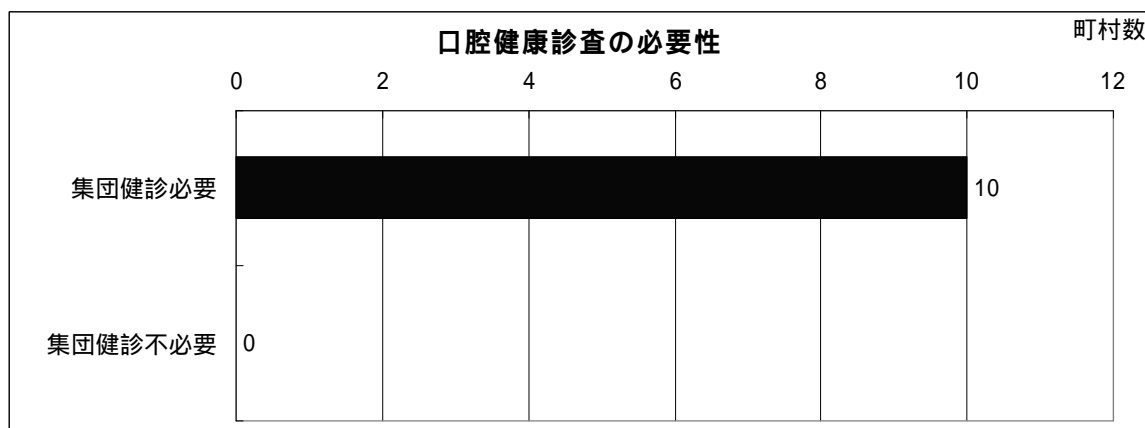
歯周疾患の早期発見は歯牙喪失を防ぐうえでは大切と思われる。

自覚症状がない歯科は定期的に個人で受診するのは難しいため。

健康を考えた場合食物をしっかり噛んで食べることは大変重要なので、しっかり歯ぐきを整えておく必要がある。

歯科医療機関には症状がでたりして病状が悪化してから受診することが多いので、口腔の健康に対する意識づけの為には必要。

痛み等がないとどうしても歯科医院に行かないので、検査の機会を増やす意味でも必要と思う。



#### 質問15 口腔健康診査事業について

「口腔健康診査事業について、市町村で実施するうえでの問題点、今後のあり方、健診機関への要望、その他お気づきの点がありましたら記入願います」

口腔の健康に対する住民の意識向上をはかる必要がある。(受診者が少なかった)

村営の歯科診療所との連携をどのようにしていったらよいか検討が必要。

今回初めての口腔健診を実施してみて、思ったより受診者が少なかった。その理由として考えられることは、

対象者のほとんどが会社等で働いていて休暇をとれなかった。

口腔内の健康について無関心の方が多かった。

等だと思われる。

この解決策としては、

健診を休日、夜間・早朝等を実施し、対象者が受診しやすい体制をつくる。

口腔内の健康に関心を持ってもらうために、健康教育、健康相談等でアピールを充実させる。

節目検診として総合検診に組み入れ実施したい。

デジタルパノラマX線撮影は短時間で終了するが、歯科衛生士さんの指導に時間がかかるので、歯科衛生士の人数を増やして待ち時間を短くしてほしい。

今回事後指導会を行ったが参加者少数。協会に迷惑をかけた。少しでも参加しやすいようにと、土曜日に実施したが有効でなかった。歯科衛生士の指導で満足されているのか、関心がないのか、原因をはっきりさせたいと思っている。

## ・まとめ

### (1) 住民アンケート調査

自分の口腔の健康状態について「良くない」「あまり良くない」としている者が48.2%で、何らかの自覚症状を認めている。又、高齢になる程その割合は高くなる。しかし、「良くない」と感じている者でも43.4%は「治療していない」と答えており、自覚症状はあるが放置している、我慢している者など潜在的有病者が相当いることを予想させる結果となっている。

アンケートの内容で、「要精査」と判定された人達の65.8%が「歯科医療機関を受診しなかったからこれから受診しようと思う」と回答。このような人に対して、健診を受けたことによって歯科医療機関で受診する気持ちの一助になることを望まれる。又、歯科医療機関に受診された場合、歯科医療機関より保健衛生協会へ来院の有無を頂く様にした所、「要精査」の約20%弱が来院していると思われた。この事は他の検診の精査に比べ極端に低い結果である。事後措置の面からも個人の口腔に関する意識変容の必要が認められた。

大部分の住民(91.7%)が口腔健康診査事業の必要性を認めており、基本健康診査等と同様、口腔内の健康チェックも必要と考えている。

受診後の感想で「結果(口腔の健康状態)が分かって安心した」と回答した者が最も多く、今回の口腔健康診査事業についても概ね肯定的に受け止められ、今後も健診を受けようと思っていることが分かった。

また、この事業の特徴の一つでもある歯科衛生士による口腔保健指導・相談については「満足している」「話を聞いて正しい歯みがきをしている、今後しようと思う」と回答した者が多い。もう一つの特徴であるデジタルパノラマX線撮影についても「痛みがなく良かった」とし、健診方法についても概ね肯定的に受け止められていることが分かった。

以前に歯科健診を受診したことがない者は約6割で、前述のとおり口腔健康診査事業の必要性を認めている者が約9割いたことを考え合わせると、健診の受け皿体制の未整備や必要性の認識がすぐに受診行動に結びつかない等が考えられる。健診を導入する市町村を増やすことは勿論であるが、口腔保健の重要性をさらに啓発普及させることや住民への健診についての周知徹底方法も考慮する必要を感じた。又、受診者の利便性を図るための休日・夜間の健診日の更なる設定と他の基本健診やがん検診と併設のあり方、事業所健診の普及等対象者の拡大を含めて受診環境についても今後更に検討を要すものと思われる。

総合判定で「要精査」と判定された者のうち約6割の者が歯科医療機関を受診しておらず、精査の徹底について更に指導を強化すべきと思われる。

また、「要指導・相談」と判定された者のうち約半数の者が「特に何もなかった」と回答しており、この段階での生活習慣の改善等が大切と思われ、健診事後説明会や個別指導会等の受け皿体制についても今後の課題と思われる。

## ( 2 ) 市町村アンケート調査

今まで健診及び歯科保健指導の両方とも実施していなかったと回答した市町村は、4割であった。しかし、口腔健康診査の必要性については実施全市町村が必要であると認識しており、住民アンケートとほぼ一致した結果となっている。従って未実施市町村への啓発普及や事業所健診の拡大等を行い、受診機会の増加を図ることが必要と思われる。

口腔健康診査を他の検診や他のイベントと同時に実施した市町村は7割であった。「何回も検診に足を運ぶ必要がないので良いと思う」(83.6%)と回答している住民のニーズとマッチした方法であると考えられる。しかし、今後この方法による健診が増加した場合のハード、マンパワーの不足が予想され検討課題と思われる。

今回、初めての健診方法にもかかわらず受診した住民については、口腔健康診査についてかなり受容的な集団の故もあるものと思われ、口腔保健の重要性を認識している回答は高くなっている。しかし、一般的にはまだまだ口腔保健に対しての意識の低さが考えられ、住民への健診実施の周知方法、受診のきっかけづくり等の工夫はそのまま受診率に影響するものと思われ、ダイレクトメール等効果のある方法を広く市町村に取り入れていくことなどさらに検討を要する。

健診を実施した感想としては「受診者は満足して帰ったと思う」「歯科衛生士の話が良い」「来年度も実施したい」が多く、住民アンケートと一致し、健診事業全体としても健診方法としても概ね肯定的に受け止められていることが分かった。

また、市町村担当者や保健婦サイドでも結果の説明会や歯みがきの指導会、生活習慣の指導会等の必要性を多く感じていることも分かった。

対象者の区分では全体的に節目健診の対象が多く、5年区切りぐらいで行う方法が行政にとってもやりやすいものと思われた。

## ( 3 ) 総括

財団法人福島県保健衛生協会による口腔健康診査システムの概要は、市町村の一般住民の希望者に対して中型バスにデジタルパノラマを2台搭載し画一的なオルソパントモ撮影を行い、奥羽大学に依頼し今までと違った硬組織疾患の早期発見と、本人による問診票並びに歯科衛生士による口腔内診査、合わせて問題の早期解決を計り、又、「要指導・相談」者に対する集団的事後指導を行うシステムの構築をし経時的なフォローを目的としている。

全国的には初めての試みのケースで、各方面からの注目を浴びているシステムである。

特徴として

口腔内診査は、術者による視診的判断で個人差も多く、主観的内容がどち

らかというが多かったのが現実である。今回の場合は、歯科衛生士による軟組織疾患に対しては、その事実は否めないが、デジタルオルソパントモを撮影することにより、歯を含めた顎顔面域を総覧的に硬組織疾患を早期に発見することが出来る様になった。急いで処置が必要な症例に対してもシステムが構築されており、合わせて経時的な変化も追うことが出来る。

データの分析は奥羽大学に依頼し、統一された判定基準に従い判断することは、他の地域との比較や地域特異性の疾患にも着目することが出来る。

歯科衛生士とのコミュニケーションにより、自分の問題点をその場である程度解決し、その後、集団的指導のフォローもなされ、各個人にあった指導がより極め細かくなされる。

他の基本健診やがん検診と同時に行え、全身的疾患との兼ね合いも同一に判定されやすい為、より個人へのアドバイスも可能となる。

大規模災害時における対応も、データが一か所に集積されており、即時に引き出せる為、個人識別にも応用が可能とされる。

デジタルパノラマ 2 台搭載のバスは、当初、高価な投資となるが、ランニングコストの面を考慮すれば、歯科受診の機会が少ない地域にも出掛けることが可能で、福島県の広域性を考えれば充分にその対応は可能となる。

等々、この様なシステムで約半年間実施されたが、アンケートの内容にもある様に一部の住民や市町村行政からの不満点多々見受けられた。今回は市町村住民対象のみの実施であったが、今後事業所歯科健診や学校歯科健診にも応用が可能である。また、コスト的にも今までの健診事業より高くなる為、市町村に対し国や県からの財政的援助も必要であると考え。今後システムの改良を行い、より住民のニーズに応えるべく再度検討を加えて、事業内容の充実と受診者が増える方策を考慮したい。